今曉、大連羽衣女學校の校舍七分通りを燒く
坪數約四百坪、損害見積八萬圓
御眞影は幸ひ無事

三十日午前五時廿分ごろ市內常盤町私立羽衣高等女學校々舍の一隅より火を發し、瞬く間に紅蓮の焰は大蛇の舌の如くその魔手を延ばして、絡々と同校舍全部を黑煙と眞紅の二色に彩つた、發火後二分を經て大連消防署望樓看視員がこれを發見し、市內各消防署に急報すると共に現場に驅けつけ、續いて馳せつけた小崗子、沙河口、埠頭等の消防隊と協力し、大連市中における全消防能力を擧げて必死の消火作業を續けたが同校舍は外部煉瓦造り內部は全く木造家屋であつた爲め火の廻り著るしく早く數十本の送水ホースと消防署員のベストを盡した消防作業もその效なく、發火二十分後には校舍中央部の階下教室、同階上教室を總舐めに舐め盡して、遂に天井に燃え移つて、これを燒き落し、次いで怒り狂つた紅舌は隣接の社會館に延燒せんとしたが、消防署員の必死の努力によつてこれを喰ひ止めかくて同六時四十分、同校舍の殆ど七分通り約四百坪を燒いて鎭火した、この火災において全大連の消防署員が消火の爲めに使用した水量は實に千五百噸の多量に上り、校舍燒失による損害見積り額は八萬圓に及び、全日本の火災順位に五位を占める大連市としても近來稀有の火災である、因に同校の御眞影は幸ひに岡內校長の自宅に奉安してあつた爲め祝融の難を免れることが出來た

失火原因
地下割烹室備付けガスの不始末か
宿直職員や使用人を喚問取調べ

羽衣高等女學校の火災につき刑事課及び大連署では協力して火災原因の探査に努め、刑事課では星課長以下田口鑑識係長、竹野同部長、大連署より千葉司法主任、藤本警部補、遠藤刑事等多數現場に出張して出火現場の鑑識寫眞を撮影しなほこれが原因の究明に努力してゐるが、出火場所は同校地下室なる割烹室で同所備付の瓦斯の後始末不完全なため失火したものと見られ、消火直後消防隊員が驅けつけた際には割烹室の瓦斯管より盛んに焰を吹いてゐた由であるが、大連署では尚詳細にその眞因を究める爲め同夜同校に宿直した職員及び使用人等を呼び出して訊問中である

二月二日から授業開始の見込
發見した時は既に遲かつた
岡內校長は語る

燒失した羽衣女學校當事者は種々應急善後策を講じてゐるが、差當り授業は目下大連女子職業學校の教室が四つ空いてゐるのでこれを借り受け、燒け殘つた四教室と併せて來る二月二日から女學校、語學校とも授業を開始すべく職業學校に對し交渉中である、岡內同校長は沈痛な面持ちで記者に語る

皆さんに心配を掛け申譯ありません今曉火事だ！と云ふ聲に眠を覺して飛び出すと、もう火は校舍を包み手のつけ樣もありませんでした、始め支那人の小使が見つけて知らした樣な譯で、何しろ火の發見が遲かつた爲め何うすることも出來ませんでした、まだ決定的には申し上げられませぬけれど四教室は完全に殘つてゐるし他に假校舍の臨時借入方に就いても望みがありますので直ぐ授業を開始し得る見込であんなに掲示した次第です

因に同校舍は大連火災海上保險會社と六萬圓の契約がしてあると

出火に對し直に□邊病院に收容された、原因、損害は目下小崗子署にて取調べ中

日支連絡電話の改正料金

關東遞信局では二月分の日支連絡電話料金を支那側と協定の上左の通り改正したが銀價の變動により二月分は一月分に比し一通話時の通話料天津、北平二十錢、洮南十錢いづれも低廉となつた

通話區域	通話料	呼出料
奉天(日)天津間	一,四五	四〇
奉天(日)北平間	一,七五	三五
奉天(日)洮南間	一,一〇	二五
(長)大連奉天(支)間	一,三五	四〇
(長)大連天津間	二,五五	六〇
(長)大連北平間	二,五五	六〇
同大連洮南間	二,八五	六五
同旅順奉天(支)間	一,四五	四〇
同旅順天津間	二,七五	六〇
同旅順北平間	三,〇五	六五
同旅順洮南間	二,四〇	五五
同安東奉天(支)間	九五	二五
同安東天津間	二,二五	五五
同安東北平間	二,五五	六〇
同安東洮南間	一,九〇	四〇

平和街では三戶全燒
消防手負傷す

卅日午前三時ごろ市內平和街三〇仕立屋劉桔堂方より發火し深夜のこといて見る〳〵うちに隣家の豚饅頭商劉寶山及鐵力商張綠齡方へ延燒したが、急報により驅つけた消防署の必死の活動により同四時過ぎ同家一棟三戶を全燒して鎭火した、この火災の際階下において消火に努めて居つた小崗子消防出張所勤務の消防手梁義信(三〇)外三名が天井陷落してその下敷となつた爲め梁消防手は全治二週間を要

高松宮兩殿下
ウインナ御着

【ウインナ二十九日發電通】高松宮同妃兩殿下には今夕ハンガリーのブダペストより當地に御着あらせられた、兩殿下には約一週間御滯在の豫定である

ベンゾリン事件公判 (第二日)
峻烈な追窮に恐れ入る河村統治
棚ぼた式の景氣よい話に滿員の傍聽者を驚かす

續行二日目のベンゾリン密輸事件の公判は三十日午前十時から大連地方法院森本裁判長、長島、小田兩判官係り、岡檢察官立會、諸辯護士列席の下に開廷された傍聽席は前日ほどの人氣はないが相變らず滿員——裁判長は引續き白川一派の河村統治から事實調べに入る

裁判長 被告は昭和三年七月廿三日から十二月十八日までの間に十四回に亘りドイツのヒンリクセン商會からベンゾリン二千四百キロ、ヘロイン六百キロを輸入したか

河村 相違ありません

裁判長 その藥品は取締規則中のどれに該當するか

河村 モルヒネ誘導體の鹽類に當ります

裁判長 買付契約の日時は

河村 昭和二年九月廿八日に商談成立しました

裁判長 さうすると規則公布前に輸送の途にあつたものではないネ

河村 左樣であります

裁判長 輸入禁止の品物をどうして輸入したか、そこに何かの細工をしたであらう

河村 白川氏は代議士時代に木下長官とも近づきであつたのでそんな關係から長官の輸入許可證が下ると信じてゐましたので…

裁判長 代金は何時送金したか

河村 白川氏がドイツへ行つて第一回分六萬五千圓を送り、それから荷送通知がありました

裁判長 然らば規則公布前に發送したといふ意味ではないのだら

う

河村 イヽエ、送金だけで發荷の通知はありませんでした

さしごろもごろの答辯に、裁判長から「送金後でなければ發送しないであらう」と突き込まれ「左樣であります」と恐れ入り「輸送途中に無いものを、あるが如く裝ふたところを承認する

裁判長 出資關係及び利益分配は

河村 出資は私と白川が二十萬圓宛です、利益分配は私が十二、三萬圓、川上が四萬二千圓、白川が二十二、三萬圓とつたと思ひます

と棚ぼた式の景氣のいゝ話に傍聽者を驚かせる

仕事はじめに刑事課に忍込
直ちに御用

關東廳管下の重大犯罪搜査鑑識を一手に引受けてその大元締だと自他共に任じてゐる關東廳刑事課へあらうことか泥棒が入つて、鑑識搜査に急がしい課員の膽を拔いたといふユーモラスな話、三十日午前十一時四十分ごろ愛宕町關東廳刑事課の支那人ボーイが石炭補給の爲め裏口の石炭庫へ行くと煤塗れの汚い支那人が大きな麻袋に石炭をギッしり詰め込んで、のこのこおサラバを極めやうとい ふ處を發見し、これは不敵の曲者かなと呆れたがそこは日頃刑事課で見樣見眞似で鍛えられただけあつて早速刑事詰所へ此由を御注進、阿部刑事が引つ捕へて訊問したところこ奴は山東生れ當時浮浪人の王殿祥(三)と云ひモヒ中毒で働けぬところから石炭泥棒を始め刑事課の裏木戸が開いてゐるのを幸ひ石炭六貫匁を掻つ拂はうとした旨を自白、早速山崎鑑識係がお手のもの、指紋を採り臺帳と參照して前科一犯を發見、逮捕から前科發見迄が約十分間の超スピードの迅速ぶりに犯人王は「仕事始めに處もあらうに刑事課としらず忍び込み要らぬ前科迄發見されては浮ばれない」とオイ〳〵泣き乍ら大連署へ送られた

沒收品を前に松內の審理
徹頭徹尾犯意を否認した
使ひの米澤萬次郎

ついで松內一派の主謀者松內鑑太郎の審理に入つたが、松內は千九百五十九キロ(價格六十萬圓)の大部分を押收されて全く未遂に終つてゐるので、公判の成行で一番利害關係が多い、被告も鋭い裁判長の訊問に泥を吐き、規則公布後輸送の途にあるが如く裝ふため被告米澤萬次郎をドイツに派した事實を大體に認めたが、元滿信事務円邊三樹及び米澤との關係に就いては

田邊は單に私の書記を勤めたといふ程度で、事件の內容は少しも話したこともなく從つて利害關係はありません、しかし成功したなれば相當のお禮をする考へでしたが、この通り品物は押收されて終つたで禮は少しもしてをりません

と被告の前に山と積まれた六十萬圓からのベンゾリンが詰めてある罐を恨めしさうに眺める、米澤との關係に就いては

當時米澤は勤務の都合でドイツへ行くといつてゐたので、そのついでにハンブルグのペイリング商會へ立寄り證明書を取つて貰ふやう紹介狀を渡して賴んだ譯で、內容は詳しく話しませんでした

と共犯關係を打ち消したが、裁判長から急所を突かれて「まあそこまでは……」と暗に輸送途中にあるが如く裝ふ爲め證明書を取るべく依賴したことを認める、次ぎに米澤萬次郎を呼出し、裁判長はこの間の事情を詳細に質したが徹頭徹尾犯意を否認し、單にドイツへ行くついでに便じてやつたもので旅費として二千圓受け取つた程度ですと頑張り通し正午休憩、午後一時から事件の大立物白川以下の事實調べに入る筈

法學士が剃刀自殺
高等文官試験の受験準備で
神經衰弱が昂じて

連鎖近江町一九三滿鐵消費組合勤務青木源二＝假名＝方では、廿九日午後九時四十五分ころ今秋行はれる高文受驗の爲め勉強中の同氏實弟青木圓二(三〇)＝假名＝の書齋なる二階十疊の間から異樣の呻吟が聞えて來るのに不審を抱き家人が書齋を調べたところ圓二は右手に鋭利な日本剃刀を摑み、もの〻見事に左頸動脈を斷ち切り、部屋一杯を鮮血に染めて斷末魔の苦悶に喘いでゐる始末に、直に三河町の近藤病院より醫師を招いて手當を加へたが遂に絶命した、大連署より藤本警部補が出張檢死した

自殺した圓二は長崎縣對馬生れ昭和五年東大法科を卒へ舊臘滿鐵に奉職してゐる兄源二を頼つて渡滿し 今秋東京において施行される高等文官試驗に應募のため書齋に籠つて一意專心勉強を續けてゐたが、過度の勉強から神經衰弱に罹り、去る二十七日ごろからよそ目にも精神病者の如く見えるので、家人が警戒中のものであつた

官界への登龍門たぐらんが爲めに過度の勉强をした結果、強度の神經衰弱に罹り、あたら青春廿歳の有爲の材幹を、春消ゆる淡雪の如くはかなくした事件がある、大

無口で秀才
友人のはなし

右につき圓二と生前親交あつた某氏は語る

青木君は確か福岡中學の出身で五高時代同窓でしたが、神經衰弱のため二年間休學し、それが爲め學業も遲れて去年の春大學を卒業しました、去年の十一月渡滿し在滿の同窓知己へ葉書を寄せて今年は高文をパスして見せるといつて寄越してゐました五高時代は柔道の選手で、大變無口な人で、沈毅緻密な性質で友人間に嶄然として重きを爲してをり、神經衰弱に罹る前には秀才として聞えてゐました、眞

羽衣女學校の燒跡

完全に燒けた樓上の講堂(左上)無殘な燒跡を仰ひで啜り泣く女學生たち(左下)發火箇所と疑はれる問題の地下割烹室(右上)と休校の貼紙(右下)

英鑛山の爆發

【ホワイトヘヴン(英國カンバランド州)二十九日發電通】二十九日當地ヘイグ鑛山は二十九日多量の可燃性ガスを噴出し夜勤交替員入坑直後引火し大爆發を起し鑛山附近一帶は猛炎に閉ぢ籠められた坑內にある五十名は慘死せるにあらずやと氣遣はれてゐる

議會暴行事件
名川代議士取調

【東京廿一日發電通】議會暴行事件は東京檢事局石郷岡、長谷川、木內三檢事係で連日告訴人の戶澤代議士を始め目撃者を召喚取調べを急いでゐるが、三十日朝被告人名川代議士を召喚石郷岡檢事が取調を行つた

金塊事件
取調べ進む

【ハルベン特電三十日發】露哈中なる池內檢察官は原告側の某ロシヤ人を二十八、九の兩日に亘り北滿ホテルに招き杉原總領事館書記の通譯にて金塊託送の內容を詳細に聽取した、白川友一氏に對する相當な確證を得た模樣である

面目な人だつただけに學業が遲れたり就職や高文などが思ふやうにすら〳〵と行かなかつたので、それを苦にして神經衰弱が昂じ有爲の材幹を散らしたのかと想像します、生前親しく交際し、その爲人に敬服してゐただけ哀愁の念深きを覺えます

馬車うま足を折る

卅日午前十一時五十分ごろ市內日吉町大連精糖會社運轉手鈴木龜治(二九)がトラックを操縱して市內西崗街七四番地先を進行中、トラックと並行して大連方面に向つて居つた沙河口白雲山馬車收容所の劉福香(三五)の馬が前方より疾走して來た電車の音に驚きトラックの前方を橫斷せんとして衝突し前足二本を折つた

大聖寺節分會

二月四日は節分につき例年の通り市內攝津町高野山大聖寺では星供祭、護摩秘法祈禱を行ひ一般參拜者には福豆並に緣喜のよい本年のマスコットを與へ、尚餘興として午後七時よりホールに於て素人芝居接待の催しがある、因みに厄除希望者は氏名を通知して貰ひたいと

大連神社月次祭

大連神社では二月一日の月次祭には氏子代參當番町浪速町第三區の氏子役員等參列のうへ午前十時より月次祭典執行、一般參拜者には早朝より祓神樂を奉仕し神酒供物を頒與すると

守田家の不幸

大連日本橋尋常小學校訓導守田彦三氏長女しづえさん(一八)は舊臘より大連醫院に入院加療中の處藥石効なく昨廿九日午後七時四十分死去した葬儀は途中行列を廢し三十一日午後二時天神町常安寺に於て執行

●貧困者に白米寄附 市內沙河口元町六九番地樋口倖司(三六)は廿九日亡父の七周忌に相當するので沙河口署へ白米五俵を同署管內の貧困者へと寄贈方を申出でた

俠艶一代男 (176)

米田華紅作 伊藤幾久藏畫

雪の夜語り(十二)

「さうか？、お前、それ程までにあの苦めぬき泣きを見せられた目明き按摩の道玄がいとしいか？」

典膳も解し兼ねるやうに訊いた。

「あい。生みの親より育ての親と世間でよく云ふは、ここの事でござんしやう？私ア お前が話した本當のお父さんと云ふ芳五郎と云ふ方より、幾ら惡人でも、道玄の方がなつかしうござんす」

「無理もねえ。お前は俺と違ひ、西も東も判られえ頑是れえ時に手離されたんだ。生みの親に親まれえが當り前。しかし道玄もあの重なる兇事では、俺と同じにこの娑婆も長えことはあるめえよ」

「あい、そ、それも覺悟してでござんす」

「覺悟？、彼奴の跡追ふて死ぬ氣か？」

「………」と一葉は切ない嘆息を漏らす許りで、返辭をしなかつた。

「そりや悪い了見だらうぜ。極惡非道の養父が處刑になつたからとて、お前に何の罪とがある？、世間でどのやうに言ふたとて、人の噂も七十五日、そんな事を氣にするに當られえ。詰られえ考へなど起しちやならねえぜ」

典膳は、一葉の氣になる言葉に釣り込まれ、それとなく戒めてゐたが、道玄に輪をかけた自分の惡事の數々を思廻らし、首を縮めて苦笑ひ。

「獄の尻笑ひとは、俺の事かも知れねえよ。眞人間面をして、道玄のことを兎や角と云ふ、俺ア柄で無かつたんだッけ」

灯影にしよんぼりと悄しげに俯く一葉の姿をいぢらしく、見遣つて蹶ての決心を更に固くした。

「道玄の奴は、どうしても俺の手で片づけて行かなくちやならねえ。どうとヒビの入つた身體なんだ。あんな奴は一人殺すも、二人殺すも同じこと、生じにお官の手に掛つて、この上、一葉に嘆きを見せるにや忍びれえ。それよりは俺の手で、人知れずバラしてしまつたなら……さうだ。これより外にいゝ手段はねえ」

典膳は、人を殺すことが、この世で、血を分けた妹へ殘す唯一の親切かと思ふと、どこまで惡に祟られ、終始した一生かを思ひ返した情ない氣が胸一杯、滅入り込んだ。

「こんな氣の弱いことぢやいけねえ。爺さんに逢つて。崩した佛心が、あの惡運の強い道玄を片づける邪魔になつて、萬ケ一、不覺を取ることがあつたら、爺さん始め妹たちへ嘆きの上塗りだ。さうだ」

典膳は烈しく頭を振ると、滅入る氣を拂ひのける風で、蕭平と立ち上り

「ではお前、爺さんに逢つてやつてお呉んなせえよ。これで俺は戻るが、また機會があつたなら…」

口ではかう言ふものゝ、また逢ふことの無いは知れ切つて居る。これが妹と始めて逢ふての、別れであつた。

「お前、これからどこへ……？」

「さア、どこと云つて、長居の出きねえ、ケアい身だ、行く先、暇の渡鳥よ」

胸を刺す、遣瀬ない聲であつた。

「この大雪なのに、今夜はこゝにゆつくりと、私も話したいこと聞きたい事がたんとある。な。さうなさいませ！」

一葉も、典膳の言行から推してもう二度と逢はれぬであらうを察してゐた。

「いや、さうしても居られねえ。下谷根岸の法性寺まで行かなくちやならねえのを思ひ出した。かう見えても忙しい身なのだよ」

笑ふと言ふよりは、泣いてる。とでも云ふ無理な笑ひを浮べて、一葉を見つめて居つた。

「もしや、お前、お養父さんを…？」

ドキリと突かれた胸を、何氣なく

「なアに、そ、そんなことぢやねえ」

一葉は、典膳の眼から、言葉の裏を讀んで居つた。戀愁の底から溢れる涙が新しく珠となつて頰を流れる。

バサリと枝を落つる雪の音が、夜氣を顫はし、冴えて聞えた。

映畫八荒流騎隊 讀者半額優待券
浪速館階上四十錢階下卅錢
後援 滿洲日報販賣部

怪盜夜叉王 日活時代劇映畫前田曙山原作田中監督澤田清一人二役梅村蓉子主演新妻英助川上彌生助演

キネマと演藝

二條昌子來演 一日から大劇

二條昌子が東京新戲曲座を組織して來連し來る二月一日から大連劇場に於て公演するが、上演藝題は大衆本位で劍戟レヴユウ、モダン愉快劇等で入場料も大衆的料金であると

霧の中の曙

高田稔と八雲惠美子の顏合せが先づ興味をそゝる作品である、監督が清水宏であることも蒲田の文藝映畫として少からず期待される。

●ところで私はこの頃の清水宏の傾向を知らないが、事件を平坦に展開して行く味はなかなか捨て難いところがある。

●高田稔・八雲惠美子の外には奈良眞養と川崎弘子がいゝ共演者となつて全篇を通じてお芝居が少く比較的すつきりとした効果をあげてゐる。

●燒付が惡いのか機械場の不注意からか頻りに映寫やピンボケしたのは不愉快だ、尤も蒲田映畫としては珍らしく仕上げにムラがあるが……

●要は無條件に野村愛正の原作物語をうけいれるか否かによつてその價値が決定される作品で、それだけテーマに弱味があるが、あれでいゝファンには「まアよかつたわ」と高田稔の精二と八雲惠美子の蘭子が祝福される戀愛映畫である。

噂話

新國劇が三月に來滿すると挨拶狀をうつかり信用して紹介したが▲その後關係各方面に照會して見るとそんな話は一向知らぬとのこと▲どうも變だと氣がついた矢先に新國劇とは深い縁故のある田中總一郎氏に會つたところ▲來演するといふ新國劇の連名を見ると澤田の息のかゝつた者は見當りませんネと注意され▲先日の挨拶狀の連名を見直して見ると金井はゐるが金井修であつたり▲中田は名が舜堂であつたり、益々腑におちないところがある▲それなら連名にある倉橋仙太郎の第二眞國劇かと思ふと田中氏は連名が違ふと指摘してゐる▲物識りに一體何が來るのかときけば「金井修の主宰する眞の新國劇といふものが來るのでせう」

觀正會

二月一日正午より連鎖街江戸金に於て謠曲會を催す當日の番組次の如し

高砂、熊、二人靜、弱法師、東北、小袖曾我、猩々

けふの放送

大連 JQAK

一月三十日午後七時

▲謠語講座「第五十九課」大連語學校講師グロースマン
▲獨唱(イ)久方の(ロ)人はいざ 大連音樂學校師範科道家信子
▲義太夫「伽羅先代萩御殿の段」淨瑠璃ふく子、三味線鶴澤叶治郎
▲浪花節「大石良雄山科妻子別れ」御園玉鶴
▲支那劇「行路烏盆」連東倶樂部々員

東京 JOAK

一月三十日午後六時二十五分

▲講演「偉人と現代」(仙臺より)東北帝大法文學部長中村善太郎
▲ラヂオドラマ「秋子」(細野たち子作)場景(神戸市秋子の家)秋子(初瀬浪子)妹春子(東秀子)男音松(藤間房子)秋子の娘みよ子(坂東鶴丸)ばあやお德(橋爪)隣の妻(草間金糸)屑屋(尾上梅十郎)自動車運轉手(尾上仙平)
▲歌澤「春はにぎはう」「鶯」「わしが思ひ」唄歌澤芝金、三味線芝田マキ
▲獨唱と管絃樂 一、賣れた花嫁(スメタナ作)二、獨唱フィガロの結婚の中より(イ)嬉しい時がやがて近づく(ロ)消えて燃えつく心のいさくび、三、歌劇ミニヨンガボット舞曲(トーマ作)四獨唱(イ)セレナード(シューベルト作)(ロ)シルブエイグの唄(グリーグ作)獨唱立松房子、東京ラヂオオーケストラ、指揮篠原正雄

義太夫

伽羅先代萩 政岡忠義の段

淨瑠璃 ふく子
三味線 鶴澤叶治郎

解説

本曲の作者は吉田角丸、松貫四、高橋武兵衛の三人の合作である。題名の伽羅は（メイボク）と讀ませて居るが字義は結構の意である、近來中央放送局などでは（キャラ）とアナウンスして居る。筋は萬治年間に仙臺の伊達家にあつたお家騷動が骨子であるが淨瑠璃となつたのは天明五年で劇中の人物は多くは假名である。政岡は本名は淺岡で梶原平三は時の大老酒井雅樂守を擬したもので鶴千代君は本名は龜千代であつて二歳の時伊達綱宗の家督を相續したのである、男之助に眉間を割らるゝ仁木彈正は原田甲斐である、原田甲斐が評定所で伊達安藝(外記)に訴訟で負けて刃傷に及んだのは事實である 政岡の墓は東京中目黒ー蓮宗の正覺寺に本名三深初子として現存して居る

歌詞

……さはいふものゝ可愛いやな君の御爲めかれてより、覺悟は極めて居ながらも、せめて人らしい者の手にかゝつて死す事か素性賤しい銀兵衛が女房づれの刃にかゝり、なぶり殺しを現在に傍で見て居る母が氣は、どのやうにあらうどうあらう、思ひ廻せば此の程から、うたふた歌に、千松が七ッ八ッから、金山で一年待てどもまだ見えぬ、二年待てどもまだ見えぬ、と歌の中なる千松は、待甲斐ありて父母に顏を見せる事も有、同じ名の付く千松の、そなたは百年待つたとて、千年萬年待つたとて何の便りが有るぞいの、三千世界に子を持つた、親の心は皆一つ、子の可愛さに毒な物、喰ふなと言ふて叱るのに、毒と見えたら試みて死んでくれひと言ふ樣な、ようよく非道な母親が、又と一人有る物か、武士の種に生れたが果報か因果かいぢらしや、死ぬるを忠義と言ふ事は、いつの世からのならはしぞと繰りかたまりし鐵石心、流石女の愚に返り、死骸にひしと抱き付、前後ふかくに歎きしは理り過ぎて道理なり……

第廿八回 滿日勝繼碁戰(中山氏二回目)

先相先 中山照世氏 瀧澤唯二氏

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ
一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

●一六一ヨ十四 ○一六二カ十三 ●一六三ヨ十三 ○一六四タ十二
●一六五ヨ十二 ○一六六タ十一 ●一六七ワ十八 ○一六八カ十八
●一六九カ十九 ○一七〇チ十八 ●一七一チ十九 ○一七二ニ十一
●一七三ヘ十四 ○一七四ヘ十五 ●一七五ホ十四 ○一七六ホ十五
●一七七ト五 ○一七八ロ八 ●一七九ロ七 ○一八〇イ七

【9】

滿洲日報

社説

隣接鐵道の存立的意義

東京に開催中の日滿運絡運輸會議において日露兩當事者間に運賃率協定の成立を見ることの出來ぬのは遺憾千萬である。交通機關としての本質上、滿鐵、東支、烏鐵のために惜しまざるを得ざるものがある。

◇

交通機關は何々の貨物に對しては一哩何程といふやうに、その貨物が西に走らうと又は北に送られようと何らの區別を設かぬところに原則が存する。たとひ、その間一方には急勾配があり、他方は平坦な砥の如きレールを走るにしても運賃率は同一であることを普通とするものである。然るを東支鐵道では南行と東行とに對し非常に不衡平なる運賃率を課してゐるのである。すなはち哈爾濱、浦鹽間と哈爾濱長春間とを對比すると距離に反比例して三對一、物によつては四對一といふやうな法外の運賃率を實施するのは何としても吾人の解釋に苦しむところである。

◇

それといふのは滿鐵と烏鐵との間に東支鐵道といふものが介在し、その東支鐵道を現實に運用經營してゐるところのものはロシア側の勢力範圍であるところから、烏鐵を生かすがために東支鐵道を犧牲にして顧みぬといふ政策が採用せられ來つた。東支鐵道は如何に損失するも支那側との折半であるから、その損失の埋め合せは烏鐵の收入において取り戻すといふのがロシア側の作戰である。それにロシア側としては何とかして浦鹽を繁昌せしめねばならぬ、といふモスクワ政權に對する出先官憲としての弱味があり、是が非でも原則に戻して不當なる差別待遇をせねばならぬのであらう。

◇

この關係からして北滿の交通界に常に面白からぬ現象の存在するを認め、これを一掃し而して以て北滿の經濟的開發、文化的發展に資せしめんとするのが今次の東京における連絡會議となつたものに外ならぬ。然るにロシア側代表者は上述の如き經緯から公正なる主張を受け容るるの雅量を示し能はぬが如き遺憾千萬である。

◇

抑も東支鐵道なるものは創設當初にありては帝政ロシアの東方政策の幹根として敷設せられたものである。然るに帝政が倒れて今日の蘇聯となつた以上、この東支鐵道は當然に、北滿の經濟的、文化的開發のために經營せられねばならぬ筈であるにも拘らず、ロシア側は東支鐵道の管理局に占據し頑として東支鐵道の死命を制し、しかも東支鐵道をして單なる烏蘇里鐵道の培養線道、浦鹽繁昌の犧牲たらしめんとしてゐるのである。その結果が三對一、四對一といふやうな如何なる素人が見ても直ちに納得の出來ぬやうな運賃率を課して顧みぬといふのは言語道斷の沙汰といはねばならぬ。

◇

吾人は今日、窮狀に陷りつゝある東支鐵道の財政難、烏蘇里鐵道の經營難について相當の理解と同情とを有するものである。南行貨物と東行貨物とに全く非常識ともいふべき差別的運賃率を課して行かねばならぬ事情に對しても、決して諒解のないものではないつもりである。併しながら、かくまでに交通機關としての常道を破り、北滿の經濟的使命を沒却して顧みぬ傍若無人の態度に對しては全く何とも評すべき言葉を知らぬ次第である。かくの如き傍若無人の振舞に對し東支鐵道の合辦者たる支那側が餘り多くの發言權を有せぬもの、如きは、吾人の少しく怪訝に堪へぬところである。

◇

そは兎も角として日支露三國間に隣接する各鐵道は交通機關の原則に立脚し公明正大なる精神において相互の使命を遂行すべきではあるまいか。……のである。然るに隣接、しかも外的鐵道なり又は港灣なりを犧牲としてまで公正妥當ならざる運賃率を課せねばならぬといふことは國際交通機關の根本意義を蹂躙するものではあるまいか。

濱口首相の面目を論じ 勝田氏大見得を切る

藏相、相手にせずアッサリ答辯

貴族院本會議（三十日午後續行）

【東京三十日發電通】貴族院本會議は一時五十五分再開、湯地氏の質問に答ふべく松田拓相登壇

松田拓相 湯地君は霧社事件に就て種々の原因を述べられたが政府の調査した處とは違ふ……

……第三は誤解であつて男女關係……蕃婦關係の如きは原因ではない次に他の蕃人を討伐に使用したのは兇蕃の襲撃を防止する意味と山地に馴れた彼等の力に依つて鎭定を速かならしめんとの意味に外ならぬ（と陳辯大いに努め）霧社事件は突發事件ではないと申されるが結果から見れば一致結束して左樣ではない又九蕃社が一致結束して行動を爲したと云ふやうな事はなく却つて內三社は警官を支援して兇蕃討伐に向つた者もある程である

湯地氏更に登壇、午前中の質問の要旨を繰返し武斷的總督任命に關する政府の見解を質し

湯地氏 殊に不快に思ふのは霧社事件の責任から所管大臣が免かれ得ると云ふ理論的根據を承る事の出來ぬ事である

と質し

幣原首相代理 霧社蕃事件に就き拓務大臣が責任を負はねばならぬ法律的根據を問はれたがこれは事情に適合した判斷に依るものにて別に法理的根據はないと思ふ

と述べ之に對し湯池氏不平を並べ乍らも質問を終る、次で貴族院に於ける前大臣最初の質問として二時三十五分勝田主計氏登壇

勝田氏 私は前議會に於て財政經濟問題に就き首相に御伺ひした處首相は樂觀的な事を申され讓る處がなかつたので餘儀なく時の經過を見てゐたのであるが遺憾ながら現實は濱口首相の答辯（と得意の論法を以て）斯くの如くにして謹嚴苟くもせぬ濱口君の面目何れに在りや

と大見得を切り公債政策に轉じ特別議會に於て余は生産的の公債なれば寧ろ此の際どしどし發行すべしと言へるに濱口君は斷じて左樣な事は致しませんと言へり然るに幾何ならずして六年度に於ては一般會計二千二百萬圓、特別會計一千二百萬圓の公債を發行する事とせり素より必要なる公債は進んでやるべしとさへ主張するものなれば公債自體には反對せざるもあれ程立派に斷言せる事を思ふ時濱口君の威信と現內閣の信念奈邊に在るや疑はざるを得ぬ然かも地方債は一億三千萬圓に達し既に償却額を超過し居り如何に辯明するも濱口君の不明、現內閣の不誠意を示すものであると斷ずる外なし有價證券に於ても同樣未曾有の暴落を續け居り之が爲め銀行の支拂を停止せるもの二十に餘り中、小銀行は氣息奄々たり有價證券の下落は素より政府の政策に禍ひせられたるものにして政府は之に對し如何なる責任を感ずるか

と明確なる句調にて一々幣原首相代理、井上藏相を睨み付け鋒先鋭く述べ立て海軍整理問題に移り陸軍では二年も前から調査會を設けて研究して居り乍ら今だに目鼻も付かず最近に於ては軍縮會議の結果を參酌せねばならぬ等と將來に於ける實施の遲延を諷して居り軍縮會議は今後も時々開かるべく一國の政府が信念なく自國の軍を整理するに一々他國との間に開かるゝ軍縮會議の結果に俟つ如き斯くては軍備整理は百年河清を待つの類のみと皮肉りたるが此の時軍部大臣は一人も居らず勝田氏轉じて行政整理、植民地金融機關設置、日銀制度改正に關し濱口首相の言質を捕へ政府の方針を質す、此の時近衛議長席に着く、勝田氏次いで政策に就き政府を攻撃せる後失業救濟に就ては全院一致を以て前議會で決議案を提出せるが政府は之に對し如何なる事を爲せるや現內閣の政策を以てしては如何に救濟努力するも政策其のものが失業者を出す樣に出來て居るのであるから爲すも効果なく況んや爲さざるに於てをや次に昨年の貿易を見るに前年に比し十二億三千萬圓の巨額な減少を示して居る貿易總額三十億之に對し十三億減と云ふ事は有史以來何れの國にも見なかつた現象である（と述べ）之は金解禁を急いだ政府の罪である（と責め）これ以上正貨が流出した場合政府は如何にする積りか斯る狀態に放置するに於ては結局動きが採れなくなり如何なる救ひの道でも取る事となり由々しき大事を惹起するであらう政府は此の儘で差支へなしと見るか政府は蠶糸補償に四千萬圓農村救濟に七千萬圓、更に一億三千萬圓の地方債を認めて居るが其の結果はどうなるか政府は歳入減を所得税に於て四千萬圓、營業收益税三千二百萬圓、郵便電信電話收入千二百萬圓と見積つてゐるが其の見積は何を標準としたか國民の所得は三割以上減つてゐるのに之だけで濟むとは考へられぬ

勝田氏更に減債基金繰入減少を採り出し政府は聲明に反する公債を發行し一方減債基金繰入を減じてゐる全く矛盾して居ると微に入り細に亘り攻撃した上斯くの如き事では正貨は減少する一方であるこれを防止する手段として平價解禁を廢す等の如き醜くい事が起らねば良いがと心配する、今日の世界共通の不景氣原因は經濟上の不安と政治上の不安との二つに大別さるゝ、經濟上の不安は

一、生産過剩
一、銀塊暴落
一、金の移動

である政治上の不安は

一、印度、支那の政情不安
一、ロシアの經濟狀態の變動

が數へらるゝ之等は極めて深い根底を以て居るが日本の不景氣は世界的の影響と輕く片付けられるは我國の不景氣を見、財政經濟を見れば我國の經濟狀態の回復は到底望めぬと思ふ、最後に聞かん政府は五年歳入缺陷は八千萬圓と言ふが自分は一億二千萬圓以上と思ふ此の缺陷を政府は如何にするか

と約一時間半に亙る長質問を終り四時二十分降壇

井上藏相 一昨年五月以來世界の情勢は著しく變化し物價は低落した此の結果五年の歳入減少が大であると思つた結果歳出を減じた其の數字は八千萬圓であるが此の數字は大體の數字であるが此の上煙草元賣捌廢止に依る一千萬圓外に官吏の年末賞與切詰めで二千萬圓の歳出不用額を有して居るから決算不能とは思はない決算が出來なかつた場合に就ては今言へない他の問題に就ては他の機會で申上げる

とあつさり答へ勝田氏尚發言を求めたが近衛議長之に構はず四時二十八分散會を宣す

歳入減の見込額 約八千萬圓

（三十日大藏省發表）

【東京三十日發電通】本年度の歳入減收見込につき大藏省は三十日左の如く發表した

昭和五年度豫算實行上歳入の實收が實行豫算に比し幾何の減少を來すべきかは年度の途中に在るを以て正確なる數字を以て說明する能はず、現在の歳入狀況より達觀する時は大體左の如くなるべしと思考す

一、租税及印紙收入において約六千萬圓
一、郵便電信電話において約千五百萬圓
一、森林收入において約五百萬圓
計約八千萬圓

なほ租税及印紙收入については各税別につき一應の計算をなすと同時に租税全體に亘り達觀して大體の推測をなした

六年以降歳出入豫算概計表

（三十日大藏省發表）

【東京三十日發電通】大藏省發表昭和六年度以降歳入歳出豫算概計表（單位千圓）

年度	歳入 經常部	歳入 臨時部	歳入 計	歳出 經常部	歳出 臨時部	歳出 計	歳入歳出差引過
昭和六年度	一、三九四、二九五	六四、四七六	一、四五八、七七二	一、一七九、七七七	二六八、七五一	一、四四八、五二八	一〇、二四三
昭和七年度	一、三六六、四二九	六五、二七〇	一、四三一、七〇二	一、一七五、六三四	二五四、一四五	一、四二九、七八〇	一、九一九
昭和八年度	一、三六七、一五六	五七、五一六	一、四二四、六七二	一、一七六、五七八	二四三、六七五	一、四二〇、二五四	四、四一八
昭和九年度	一、三七五、二八四	五二、二一九	一、四二七、五〇三	一、一七五、八五三	二五〇、二八七	一、四二六、一四一	一、三六一
昭和十年度	一、三八一、七〇〇	五一、八四一	一、四三三、五四一	一、一七七、〇六六	二五三、六三二	一、四三〇、六九九	二、八四二
昭和十一年度	一、三八一、二六六	五一、〇二七	一、四三二、二九四	一、一七九、二九一	二五一、四二五	一、四三〇、七一六	一、五七五
昭和十二年度	一、三八五、七七六	四五、四〇四	一、四三一、一八一	一、一八二、八九九	二四七、二三六	一、四三〇、一四六	一、〇三五
昭和十三年度	一、三八五、二三八	三一、三八七	一、四一六、六二五	一、一七三、三六四	二三七、二五二	一、四一〇、六一七	六、〇〇七
昭和十四年度	一、三八五、二七三	三〇、六一八	一、四一五、八九一	一、一七〇、七九一	二一二、五三三	一、三八三、三二四	三二、五六七
昭和十五年度	一、三八四、八六五	三〇、四六一	一、四一五、三二六	一、一六八、一三四	一九一、七〇四	一、三五九、八三八	五五、四八八

虛僞の計數

三土忠造氏談

【東京三十日發電通】昭和六年以降の概況表を見たが歳出の內容を示さないと云ふ慣例の影に隱れて全然虛僞の計數を示してゐる、即ち昭和六年度實行豫算を基礎とする概計表にては昭和十二年度まで毎年歳入の餘剩は十萬圓乃至數百萬圓に過ぎなかつたのであるが、實行豫算成立後間もなく再び豫算を**變更し**四千百萬圓を繰延べ更に昭和六年度豫算編成に當り六百五十萬圓の繰延を行つて合計一億六百萬圓後年度の歳出增加になつてゐる、且つ六年度豫算に於て實行豫算に比し歳入は經常部のみで一億二千萬圓以上の減收になりその數字は後年度にそのまゝ續くのである、これ等の事情から考へ如實に計數を計算すれば少くとも昭和八、九年度以內にては逆に歳入の非常な缺陷を來すと見ねばならぬに從來の慣例に依り概計表は歳入歳出ともにその內容を示さぬため、いゝ加減の計數を示して一時を**糊塗す**るに過ぎないものと確信する、いづれ內閣が更迭し次の內閣に依つてこの內容を見れば直にその彌縫策が暴露され財政計畫上困難に逢着するのを免れる

治安維持法の質問趣意書提出

尾崎氏から衆議院に

【東京三十日發電通】尾崎行雄氏は三十日衆議院に「帝室の御安泰と治安維持法の關係に就いて」と題する質問趣意書を提出したが其の要旨は同法制定以來これに依り起訴された者一千名を超え多數は優秀な青年なるに鑑み上は皇室に對し下は萬民に對し憂懼に堪へない而も斯くの如き同法が國體問題と經濟問題を混同し臨むに嚴罰を以てせるに基因してゐるから同法撤廢若くは改正を要すると云ふにある

森田院內總務が濱口首相と會見

重要問題の意見交換

【東京三十日發電通】民政黨森田院內筆頭總務は三十日午前十一時濱口首相の招致により官邸に首相を訪問議會の經過を報告し政府與黨間の聯絡與黨內の統制を初め今後の對議會策につき意見の交換を試み尚救護法實施を初め選擧法改正勞働組合法轆産税委議電信電話民營案製鐵所合同硫安關税等重要問題につき與黨側の希望を述べこれ等重要法案の速かに提案の運びとなる樣首相の考慮を求め會談一時間にして辭去した

與黨の態度に

濱口首相滿足

【東京三十日發電通】民政黨森田總務は三十日朝官邸にて濱口首相と會見の際與黨としては總裁の意を體して隱忍自重してやつてゐる、首相代理問題の論議も何なく過ぎ質問戰も無事打切られ政府案も豫定通り進行し經過良好であると報告したに對し

諸君が良く統制を保つて行かれることに對し眞に滿足してゐる

と答へたので更に森田氏より懲罰問題につき

あんなことは不本意であるが今後の警戒や他のみせしめのため餘儀なく取つた手段である

と諒解を求めたに對し首相は

まあ仕方があるまい

と述べ從來の與黨の態度に滿足の意を表した

日滿連絡會議再開に決定

運賃問題に關し協議

【東京三十日發電通】浦鹽大連經由日滿連絡運輸系路復活に伴ふ運賃協定問題に關し東支代表との意見纏まらず二十八日休會になつた日滿貨物連絡會議につき久保田議長は三十日朝帝國ホテルに東支鐵道代表ルーディ氏を訪問折衝を重ねた結果東支側としても決裂を望むものでなく何とか妥協點を見出したいと望んでゐるので再び運賃問題に關する委員會を三十日午後二時より再開することになつた

軍縮問題を提げて野黨鋭く詰め寄る

內田信也氏海相の言質を握る

衆議院豫算總會（三十日午後續會）

【東京三十日發電通】衆議院豫算總會は三十日午後一時四十三分休憩前に引續き開會、井上藏相より午前に於ける補償法發動の理由に關する答辯は後刻に行ふ旨を述べ次で

砂田重政氏（政） 井上藏相は我國不景氣の重大原因は生糸の輸出減にあると云はるゝが昭和四年と五年のアメリカに於ける生糸消費量の比較如何

井上藏相 昭和四年は六十一萬九千俵、五年は五十八萬二千俵で三萬七千俵の減少である

砂田氏 アメリカの生糸消費量は六分減であるのに我國生糸輸出量の減少割合は一割八步八厘である井上さんはアメリカの不景氣が急激に來たと云はれるがアメリカの消費量は大して減つてゐないではないか即ち日本生糸の暴落は補償法出動のためアメリカが日本生糸に手が出せず歐洲物を輸入するに至り且つ四年度の見越輸入に依る滯貨を賣り叩いたからではないか井上藏相はアメリカの不景氣のためであると強辯さるゝが補償法を發動せしめて市價を不當に吊上げた事が遂に市價慘落を惹起するに至つた事は數字が證明してゐる夫れでもアメリカ消費量の減退であると云はるゝか

井上藏相 アメリカの歐州物輸入增加は一萬四千梱で日本の販路を蠶食したとは思はれない又支那物の增加は銀安の爲めである

砂田氏 アメリカの不景氣のためだと云はるゝならば數字的根據を擧げて說明され度い

と太刀打ち鋭く詰め寄れば井上藏相の答辯はシドロモドロとなる

砂田氏 我國經濟界の大打擊の原因は井上藏相の云ふ樣に世界不景氣の嵐が日本だけに急に吹いて來たことに依るのではないことは明かである即ち眞の原因は準備なき金解禁斷行にありそれに世界不景氣が少し許り加つてゐるものである井上さん此の邊でモウ兜を脫いではどうか

と皮肉る

井上藏相 砂田君は大正九年と昭和五年の我財界を混同して居る

と砂田氏の引用した大正九年の物價低落と不景氣の程度に關する點に就てのみ反駁し的を外れた答辯をなする此の時井上藏相貴族院本會議出席のため退席し砂田氏は質問を保留し代つて

內田信也氏

內田信也氏（政） 兵力量決定に就ては軍令部長と海軍大臣の間に一定の例行ありや

安保海相 然り

內田氏 兵力量決定に當り一定の慣例に依つて兩省間に何等かの覺書ありや

安保海相 其の點に就ては答辯は出來ない

內田氏 兵力量決定に當り當時の加藤軍令部長は濱口海相事務管理に同意を與へたりや

安保海相 答辯を差し控へたいと存ずる

內田氏 加藤軍令部長が辭任に當つて發した聲明と濱口首相の「慣例を破らず」との言明は兩立しないではないか

安保海相 加藤大將の聲明に就ては斯るものが出されたか否か知らない

次で內田氏ロンドン條約の內容に鋒鋩を進める

內田氏 昨日貴族院本會議に於て海相は池田男の質問に對し兵力の不足は緩和し得るとお答辯なされたがそれは緩和し得る丈けの事で完全に補充し得ると云ふ意味ではなかつたその通りであるか

安保海相 條約上の兵力の不足は夫れ〲途を講ずるに於ては十分補充出來るその意味に於て昨日の貴族院に於ける答辯と變りはない

內田氏更に八吋巡洋艦潛水艦に就き「最初の主張を貫徹し得なかつたのは帝國外交並に海軍の大失敗であつた」と斷じた後

內田氏 日本の得意な潛水艦の活動が條約に依り制限され不得意な飛行機が制限されなかつたのは我國に不利ではないか

安保海相 御說の通りである

此の前後の問答に於て過日の本會議で內田氏が指摘した八吋の巡洋艦の比率に關する濱口首相の前議會に於ける誤れる答辯は安保海相に依つて訂正せられたが內田氏は此の點に就いては餘り追追する事なく補充計畫工業能力維持の問題に移る

內田氏 工廠の整理職工は七八千人と聞いてゐるが如何

安保海相 目下調査中で御答へ出來ぬ

內田氏 十一年度までの今期補充計畫の外兵力の不足補塡と工業能力維持のため更に第二次補充計畫が出來なくてはならぬと思ふが如何

安保海相 然り

內田氏 今期補充計畫は十一年で終る事になつてゐるから夫れ以前に於て第二期補充計畫を出さねばならぬと思ふが如何

此の點に關して安保海相は明確な答辯を避けんとするので山崎島田兩氏內田氏に相呼應して窮窮之れ努め遂に

安保海相 第一次補充計畫は……今次の補充計畫が終る前に若干出す必要があると思ふ

その重大な答辯をなしたので內田氏はこの言質を得て一先づ海相に對する質問を打ち切り更に幣原首相代理、井上藏相に對する質問を保留して午後三時五十五分休憩となる、午後四時四十五分三度開會議事進行につき發言を求め

山崎達之輔氏（政）（大藏省より豫算委員に發表せる本年度歳入增減の數字に關し） 本年度の歳入減收を政府が約八千萬圓と見積りその內租税、印紙が六千萬圓と云ふことは承知したが各税目についての內譯をお知らせあり度い

と要求し

井上藏相 あの數字は達觀的のどちらかと云へば不正確な參考資料だからそれは許して貰ひ度い

と逃げ次で休憩前に引續き

內田氏 軍事參議會の奉答文と今回の海軍補充計畫との間に矛盾はないか

幣原首相代理 私は奉答文の內容は見ないが軍機軍令のことは海軍大臣が心得てゐるから矛盾はないと思ふ

內田氏 海軍補充計畫は國防計畫に關する重大なる公務である、然るに奉答文に副ふや否やも知らずして補充計畫に關する豫算の協贊を求むるは無責任ではないか

幣原首相代理 事軍機軍令に關することは軍令機關より上奏して海軍大臣に下渡されそれが國務に關する場合には海相から首相に報告することになつてゐる、補充計畫もこの慣例に從つて決定したものであるから何等支障ないと考へる

山崎氏 幣原首相代理が內閣の首班として責任を負はれるならば國務と重大な相關々係のある統帥機關の意向を知らずして補充計畫に盲判を押すのは不法ではないか

幣原首相代理 奉答文の內容を知らなくとも軍機軍令を預る海相と慎重に協議の上決定したものであつて決して盲判を押すやうな無責任はやつた覺えがない

立ち代つて

秦豐助氏（政） 海軍部の奉答文の內容を知らず又知らうともせずして首相代理の職責が全うし得るか

幣原首相代理 知らぬで良いことはその他にも多々例がある

と輕く突き跳る

秦氏 然らば安保海相は奉答文の內容を知ることが重大な國務と考へないか

安保海相 事帷幄に關することゝ考へるからお答を差控へる

秦氏 奉答文を上奏するまでは軍機軍令に關する事項かも知れぬが既に總理大臣に內覽を差許された時は國務と變じて居る、國務にあらざるものを陛下が輕々にお示しになるはずがないではないか

と激しく追窮するが安保海相は前に答へた通りだと逃げる、更に代つて

島田俊雄氏（政） 同一質問を繰返して攻め立てたが幣原首相代理前言を反覆するのみで午後六時二十分散會した

けふの貴族院

【東京三十日發電通】三十一日の貴族院は午前十時開議國務大臣に對する質疑を續行前日に引續き勝田主計氏の痛烈なる政府追窮が行はれ井上藏相に迫るべく午後も續會終れば川村竹治前臺灣總督の霧社事件の松田拓相の責任追窮が行はるべく當日の貴族院質問戰は最高潮の白熱化を呈するであらう、午前九時五十分より預算組合法特別委員會を開き正副委員互選を行ふ事となつた

首相代理問題

貴院で蒸返し

【東京三十日發電通】二十九日の貴族院本會議にて池田長康男のなした質疑中幣原首相代理はロンドン條約の兵力量問題に關する軍事參議官會議の奉答文內容を承知し居るやと質したるに對し幣原首相代理は右奉答文は特に濱口首相に內覽を許されたもので他の閣僚としては承知し得るはずなしと答辯したので池田男は右奉答文の內容は財政、外交その他各般の事項にも關係するものので濱口內閣の首班を代理する幣原首相代理がその內容を知らぬとは首相代理たるの資格なきものである

と追窮したがこれに依つて貴院にては又復首相代理問題に關する一の新らしき問題が提供されたことになり更に首相代理問題が蒸返される形勢となつた

衆議院委員會

【東京三十日發電通】三十一日衆議院に於ける委員會は左の如し

一、豫算委員會　午前十時より
一、地租法案外六件委員會　午前十時より

政友會の態度

提出議案に對し

【東京三十日發電通】政友會は三十日正午より院內に政務調查會を開き左の諸案に對する態度を決定した

▲衆議院議員選擧法改正案（志賀和多利君外六名提出）は有志として提出するを認む
▲北海道拓殖促進に關する決議案（木下成太郎君外六名提出）は全黨一致贊成
▲帝國議會の會期繰り下げに關する建議案（田川大吉郎君提出）は有志として同意するを認む
▲東京市交通機關の整理統一に關する質問趣意書（同上）同上
▲母子扶助法案（片山哲君提出）勞働組合法案（西尾末廣君提出）の二案は共に否決

與黨の態度に（以上）

政友會の質問者

【東京三十日發電通】三十一日衆議院本會議は豫算案、減税案委員會の審議を促進する爲め特に休み午前十時より豫算總會を續會、財政經濟政策問題の質問を保留せる件に就き砂田重政氏軍縮に依る海軍補充計畫問題に就き內田信也氏等の再質問あり次で太田正孝氏の金融問題、松岡洋右氏、清瀨規矩雄氏等の外交問題、濱田國松氏の霧社事件に關する質問がある

院內定例閣議

答辯方針決定

【東京三十日發電通】三十日院內の定例閣議は貴族院休憩後開會井上、町田兩相より豫算總會の狀勢につき報告、松田拓相より貴族院本會議に於ける湯池氏の質問就中霧社事件に對して今後なすべき善後策につき報告したが、政府は豫算總會に於ける砂田氏の質問は事實を捉へ微細に追窮しつゝあり相當警戒を要するものとなしてゐる、なほ救護法實施の財源につき安達內相より井上藏相に交涉したが來る一日の臨時閣議で決定することゝし午後一時散會した

貴族院野黨系會合

【東京三十日發電通】貴族院の質問戰は漸く本舞臺に入らんとするので貴族院野黨系では交友俱樂部、研究會金杉英五郎氏等の發起の下に來る三日午後六時帝國ホテルに各派橫斷的野黨系動議議員の第一回會合を催す事となつた

事務次官會議

【東京二十九日發電通】事務次官會議は二十九日正午院內書記官長室に開會議會提出法案に關し鈴木翰長より審議經過を報告したところ各省とも大體法制局に廻附濟みで殘る二、三の法案も兩三日中に廻附される見込みとの答辯を得た而して勞働組合法案については法案內容決定は遲延するが二月一日の臨時閣議では取敢ず議會に提出するや否や、その提出時期如何等の根本的態度を決することゝなつた、更に議員提出の樺太に衆議院議員選擧法施行法案は趣旨は贊成なるが先づ行政系統を內務所管に移すことが必要だとしてゐる

救護法財源

本年度實施可能

【東京三十日發電通】救護法實施の財源については一ケ年約四百萬圓の恒久財源を要し而も漸次增加すべき性質を有するものであるので大藏省もこれが財源捻出に苦心したるが一日の臨時閣議において六年度中より實施することに決定すればこれが財源は從來より問題となつてゐる競馬法改正による收入增加及煙草小賣納金その他二三の財源より搔き集め充當される模樣である

伊首相を非難

米政府重大視

【ワシントン二十九日發電通】アメリカ海兵隊指揮官バットラー氏がムッソリーニ氏は只管戰爭を誘發する樣な行動を執つて居り……

張作相氏きのふ木村理事を訪問

隔意無く種々懇談

【奉天電話】張作相氏は三十日午前十一時木村滿鐵理事を訪問し種々隔意無く懇談した、なほ木村理事、張學良氏……

……張學良氏以下各要人の勸告により廿九日辭表を撤回し同日張學良王樹翰兩氏と共に委員に就任し中央及び各方面に就職通電を發した【奉天電話】

市參事會議案

大連市役所では來る二月四日午後二時から市參事會を召集、左の議案を附議すると

一、昭和六年度大連市歳入歳出豫算の件
二、特別會計設置の件
三、寄附金收受の件

關東長官招待宴

塚本新關東長官は慣例により着任直後旅大官民有志を招待就任の挨拶をなす筈、目下の豫定は旅順七日正午昭和園にて、大連九日正午ヤマトホテルにて夫々開催のことに內定してゐるが十四日うらる丸にて上京の豫定である

滿鐵三理事動靜

上京中の藤根、神鞭兩理事は三十一日に大藏理事は五日頃歸社する

人事

▲田中稔氏（貔子窩民政署長）三十日來連三十一日赴旅
▲江口親憲氏（普蘭店民政署長）同上

安樂椅子

滿鐵社員會修養部では豫て時勢に鑑みて禁酒禁煙者を募集中であつたが▲奉天における滿鐵社員中その主旨に贊成したものは本月廿八日までに五十名に達し夫々禁酒禁煙のマークを渡した▲そしてこれ等の會員は自ら率先してこれを勵行し繁風を矯正すべく大意氣込みださう

市況（三十日）

株式

內地株保合 當市も閑散

內地主力株の後場引保合を入れて當市も當配變らず矛氣乘閑散裡に大引

錢鈔

標金保合ひ 鈔票變らず

錢鈔後場は上海標金が保合たので變らず閑散であつた

商品

綿糸も閑散 麻袋變らず

●綿糸　大阪三品受渡休會に市も氣乘らず見送つた
●麻袋　產地市況不引立と地元の保合に不氣乘り閑散裡に越した

特產

人氣引立す 一般軟弱

市場電報

神戶特產物　東京株式　橫濱生糸　大阪期米　神戶期米

珍奇なマッチホルダー

如何に經濟本位だとは言ひながら應接室のテーブルに天井に四角い穴をあけた特大マッチの大きなボール紙を置いとくのはまことに不體裁である、ところで近ごろこんなマッチホルダーがアメリカあたりで流行りだした、これなら立派に置物の役目もつとめてくれるし裝飾と實用を兼ねてまことに便利である、だが、あしらつてある人物がウキスキー壜をかゝえた醉ツ拂ひでポールにつかまりながら管を卷いてゐるやうといふのだから禁酒國のアメリカだけに皮肉である。

學校卒業期に

職業の選擇は體質と相談して
誤つた選擇は一生の不幸の基

學校の卒業期を控へて將來從事すべき職業の種類を決定しなければならぬ時期になりました、職業は本人の天分能力に應じて選擇すべきは勿論であリますが、更により以上考慮しなければならないのは本人の健康です、自己の體質を無視して職務に携はつた結果遂に職に斃れるやうな場合が決して少くありません、其の中最も恐るべき病氣は肺結核ですが、如何なる職業の人が最も肺結核に罹り易いかといふと、日本での調査によれば、印刷工、學校教員、纖維工業者等が最も罹病率が多く、銀行會社員等の事務員の如く日光の恵みのない室内に終日机の前に座り切りで仕事をしてゐる人々の罹病率も相當の高さを示して居ります、單なる社會的な見栄や

＝健康＝

＝自分＝

に適しない職業を選んだゝめに不幸な一生を送り或は天命を全うすることが出來ないやうなことが少くありませんから職業の選擇は目先のことだけでなく遠く自己の一生を見通して決定されなければなりません

ライブラリー 餘談
貧弱なスープの營養價

□病人にスープはつきものゝやうになつてゐるが、一體このスープにはどれ位の營養價があるかといふと、驚くほど少い、スープが絕好の營養物であるかの如く考へるのは飛んでもない錯覺でスープの大部は單なる水にしか過ぎない、故に一杯スープを飲んだとしても、その營養の實質は半杯の御飯にも及ばない

□では、何故病人にスープを與へるかそれは液體であるが故に消化吸收を容易ならしめ得るからに過ぎない

肥える法、痩せる法
その秘訣は……？
だが……結局いゝ方法はない

肥えるとか、痩せるとかいふことはもとくその人の生れつきで痩た人が肥えたいと思つてもなかく思ふやうに肥えることが出來ないし、それと反對に

肥えた人が

痩たいと思つても之亦思ひのまゝに痩せられるものではない、ある年齡まで痩せて居た人が、急に肥り出して、大兵肥滿の男になつたといふやうな例は往々あるが、しかし、それもどちらかと言へばやはり生れつきで、肥えるやうに生れついてゐたのが何かの故障から痩せてゐたものであると見るのが至當である何故ならば、肥つた其の本人でさへ、何故に肥つたか自分でも分らない場合が多く、又煙草をやめると肥えるといふ人もあるが、痩せた人が煙草を止めたからと言つて

十三貫の人

が二十貫になるとは言はれない、しかし注意の拂ひ方により、睡眠、運動、食事、精神の持ち方などによつて多少相違を生ずるのは事實である、即ち十分の睡眠をとり、澱粉や脂肪分の多い食物を食べ、適度の運動をして、心を呑氣にして居れば肥えて來るし、砂糖類、甘い果物、酒類、脂肪類をなるべく少くし蔬菜類を食べるやうにして居れば反對にやせてくる、しかし、それは比較的の問題で、其のために非常な差を生ずるといふやうなことは先づないと言つていゝ、とにかく肥えたい人も痩せたい人も、唯一のたよりとするのは食物の選び方であるが、肥えたいからと言つて胃腸の弱い人がむやみに天ぷらなどを食つてゐた日には忽ち胃をこわして、肥えるどころか一層痩せるやうな結果にならぬとも限らない

童謠
日暮　田頭猛

滿洲の野に出て見りや
はや陽が赤い
歸り待ち待ち
お背戶に立てば
誰ぞ畑を
驢馬で行く
滿洲野淋しや
夕暮、日暮
空の七ッ星
數へてゐたりや
高粱畑に
月が出た。

感想斷片
—投稿歡迎十行以內—

◇…今年六つになる長男をつれてあるカフエーの前を通ると「父ちやんカフエーって何？」と質問を發した「コーヒーを飲むところサ」と答へたのはよかつたが「父ちやんこゝでコーヒーを飲んで行かうよ」には少からず面喰つてしまつた（紫峰）

◇…よほど優れた親でない限りは自分の子供は常に正しく見えるものらしい、子供同志が喧嘩をしても其の親はお互に相手の子供が惡いと思つてゐる、親同志の氣まづい反目もさうしたところから往々にして起つて來る（XYZ）

◇…「あなたは晩酌をおやりになりますか」と聞かれた時「え、少しばかりやつてゐます」と答へるとは大して苦痛ではないが「あなたは飲酒の癖がありますか」と聞かれて「はいあります」とは答へにくい、事實每日晩酌をやることは飲酒癖であることに間違ひはないのだが……（さきた）

不況に蘇つた靈
救世軍南滿大隊長　酒井龜一郎氏

◇打ち續く深刻な不景氣は人々から少からず物質を奪つて行きました、しかし其の代りに人々は其の精神の上に貴いあるものが與へられてゐると思ひます

◇不景氣によつて神樣から與へられたもの——それは正しさと、眞面目さとです、此の頃のやうに就職が困難になると心の正しい眞面目な人間でなければ社會は容れてくれません、それと同時に不眞面目な人間は敗殘者として社會から取殘されなければならなくなりました、世の中が此のやうな狀態になると人々はどうしても眞實にならないでは居られません、私は今度の不景氣は人々を眞面目性に立返らせる上に大きな役目をつとめてゐると思ひます

◇私共の日々の仕事から見ましても人々の生活に少からず眞劍味の加はつて來たことを意識せずには居られません、私がこちらに參りましたのは大正四年で、それ以來づつと大連に居りますが、大正八九年の好景氣時代と今日とでは人々の氣持ちの上に大きな相違があるやうに思はれます

◇好景氣時代には私共が街頭に立つて神の道を說いて居りましても心の浮立つた通行人は「何んだ又救世軍か」と蔑視の眼を投げて通り去る人が多かつたものですが此の頃では足を止めて私達の話に眞劍に耳を傾けてくれる人が多くなりました、それだけ人々の氣持ちが眞實味を帶びて來たのだと思ひます、このやうな意味から、私達は不景氣を呪つ前に先づ神の御前に感謝の祈りを捧げなければなりません

ダンス漫談（下）
新井光藏

ハルピンの某氏は嘗てダンスを評して「合法的××」と皮肉つたのを記憶してゐるが、それは單に踊手の如何でそんな氣分になれば、なり得るものだと誰かゞ告白したのを聞いたことがある、遠洋航海から歸港したマドロスの亂痴した

ダンスは往々此の間の事情を裏書するものである。然し總てものには表裡がある。私どもは人間生活にもそれが見出されるではないか。人生のスタートを切る結婚に於てもそうである。佛式、神式、キリスト教式とを問はず結婚式そのものは多數の親族、友人を前にして極めて嚴肅に

新郎新婦の誓約をさせるが

其は形式であり、形であつて寧ろ、夫婦の本所を睨視した丸ノ内をしに、東京のアパートラインの隅と

るか、語るを得ざるが如く、ダンスに於ても本所のみを觀て丸ノ内を顧みかざる者はダンスに對する正當な批評は許されないと私は思ふ。私をして忌憚なく言はしむれば大連のダンスホールは本所に相當するものであつて丸の內に匹敵するものがない。だからダンス排擊の聲は一方に偏して居つて、よい方面から觀察したダンスの批評ではない。故にダンス黨の爲にも、アンチ、ダンス黨の爲にも

大連の恥辱だと斷言するに

憚らないものである。ツーリストの案内に、好事家の案內にダンスから觀た本所への案内に、お客を招待し、丸ノ内を見せないこと——實はないから止むを得ないが——は我等の大連を紹介する萬全の策ではない。ツーリスト大連には案人に

よつて經營された理想的なダンスホールが一つ位あつても宜いと思ふ。唯ここで附加へたいのは、ダンスする人必ずしも尖端人、有識人ブルのみでないことである。私ども

もサラリマンとして下級生活を營む者は、私ども

收入の大部分が生命費となつて

消費さるゝものであつて、今日は觀劇、明日は宴會と寧日なく生活する人々の階級とは可なりの懸隔のあるものである。慰安は贅澤である。慰安は讀書にのみ求めよと強らるゝ人々に對しては、私どもの申上げんとすることは全く一顧の價値のないことかも知れぬが、勤務の餘暇一週間に一回位は身も心も音樂に溶け込んで踊る快樂、餘裕を三十分でも宜いから、忙しい生活の中に求めたいものである

今日プロにとつては藝者ガールの存在は直接何等の興味がなくなつた。反對にカフエーの異常な發展は何を物語るものであらう、歌舞伎とキネマ、純粹音樂とジャズ等

忙しい現代プロ級は安價に

して、手つ取り早い內容本位の慰安を求めて居る、而して將來のダンスホールはそれ等に代る役割をもつものではないでせうか、高價なワインと高價なコンヤクを飲まなければ、酒精分がなければ踊れぬ、エロ百パーセントのダンスホールと我々の生活とは沒交渉である——沒交渉でなければならぬキネマ館に入場すると同じ樣な氣分と、映畫觀覽料に等しい入場料で、ダンスホールに入つて踊りたいものである。勿論音樂はコロンビヤの電氣蓄音器で充分である、ホールの一隅にはリプトン紅茶一杯金五錢也とピロジノエの準備があれば尙更結構

ダンサーの人選は必要である

と共に、未婚者のダンスホール出入は嚴禁としマネイジアーに研究を煩したい。マネイジャーは相當の敎養があつて、品行上に難點のない人、又ダンスの手ほどきにも相當經驗ある、人格者であることを條件とする、出來るならば若い年よりも中老の年配者が宜い、ダンスホールの設備費には可なりの金を必要とするから收支バランスの採れる經營は如何にすべきか實業家の新溫泉の如き集團的各種の娛樂機關を設けて、その中に

理想的なダンスホールを設備

することは、實現の可能性が一番多いやうに思ふ。これは長春町の停留場で或朝目擊した事であるが十六七歲、洋裝に寸分の隙もない所謂モガさんが蝶鞋の足取りも輕くチャアルストンのパアを見せたどうして何處でチアルストンを習つたか、私は自分の好奇心を著しくそゝりたてた。ダンスが大衆的になりつゝある一つの現しである斯くしてダンスはやがて現代人の生活と離れなくなるであらう。とにかく、ダンスホールはアルの穢占場でもなく、又獵占場にしてはならないのである、そして、それは飽くまでも大衆的な存在であり健康な娛樂としての存在であらしめたいのである

相談欄

▼何事によらず御相談に應じます
▼質問はすべて端書のこと
▼滿日相談欄宛て

有利な金の利殖

多年子供の敎育費にもと心がけて貯蓄した金が少しまとまつた金になりました、もう數年の後には少からぬ學資がいりますので今の中に利殖の道を講じたいと思ひます、人の話によると債券投資が比較的確實で有利だといふことですが何時どこで、どんな手續きで求められませうか又市內に確實な信託會社がございませうかお敎へ下さいませ（市內一女性）

債券ならば確實ではあり換錢の樂しみはありますが利率は極めて僅ですから有利な利殖法とは思はれません、市內の某金融業者は確實な擔保を與へて一割五分位で預つてくれるさうですが經營が確實であるかどうかは保證の限りではありません、まあ誰でも知つて居る銀行の定期預金が最も安全でせう

鐵道敎習所入學

滿鐵鐵道敎習所の電信科に入所したいのですが資格、願書提出期、試驗期日、試驗場等お敎へ下さい、それから學業成績は出身小學校長から直接提出するのでせうか、本人が持つてゆくのでせうか（旅順佐藤生）

願書提出期、試驗期日等はまだ確定して居りません、二月中旬頃募集を發表することになるでせう、資格は高小卒、試驗場は乃木町の敎習所で行はれます、詳細は二月中旬滿鐵社報に發表されますからそれを御覽下さい（鐵道部人事課）

高女への入學

内地の小學校を卒業した女兒を引取ることになりましたが、こちらの神明或は彌生高女に入學させることが出來ますか（市內愚なる母）

在學してゐた內地小學校長から在學中の成績を內申して貰ひ規定の願書を提出して入學試驗を受け合格すれば立派に入學が出來ます、當地の小學校を卒業した者は成績さへよければ無試驗入學が出來るのですが內地の小學校を卒業した者は成績の如何にかゝはらず試驗を受けなければならないことになつて居ります

百年後の社會

少年時代に讀んだ本で譯者の名前も記憶にありませんが「百年後の社會」といふ書物の原著者は誰でせうか、甚だ漠とした質問ですが御推定がつきましたら原書名及著者名をお知らせ下さい（市內久方町安武柳條）

御尋ねの原書は Bellamy 君の "Looking Backward" です、一八八八年にボストンから出版され、日本では堺利彥が翻譯出版しました

【係から】

往復ハガキで、或は切手封入しての個人的回答、及本人自ら來社しての直接の御相談は一切お斷りいたします

滿日各地版

哈爾濱

浦鹽邦人五百名は 結局引揚げか

卅年の地盤を捨てゝ

…やうとしたともいはれてゐる●廿八日…ハルピン…に召喚され事實の訊問を受けた

張壽增氏來哈

拋妓を虐待

ロシヤ通信の近藤さんの頭の髮が最近伸びて來た、昔は丸刈であつたのだが、…機關が生れた時誰も不思議…ものはない、二つ三つは若…たと茶化すものがある、そ…は…と聞くと極秘とある、何…國漫遊のためにポーズぢや…

その話、英國はロンドンを中心としてヨーロッパの社會狀態の視察だといふ、これで始めてナール程と判つた▲大洋の暴落で困つてゐたチウリン商會、日本人は圓金建とぞ改正した、哈洋の値下で儲けた連中も少くないさうだは平凡

…ことになる、然しそのため哈爾濱支店が影響を受けることは現在ではないと想ふ

撫順

猖獗を極む傳染病

入院患者五十餘名に達す 豫防その他の注意

腸チフス、パラチフス、猩紅熱等の法定傳染病猖獗を極め傳染病棟に入院せるもの五十餘名を算する狀態であるが、右豫防その他の注意事項に就き二十九日午前撫順署安達衛生主任は語る

元來 撫順は冬期においてすら他の沿線では餘りきかぬ赤痢、腸チフス等が猛威を逞うし、加ふるに最近猩紅熱は連日の如く新患者を出してゐる、實に心細い事で衛生當局も萬全の策を執つてはゐるものの結局各家庭の理解のもとに全居住者が協力してその撲滅に當らなければこの戰慄すべき傳染病を追拂ひ撫順を住み心地よい地とする事は至難である、そこで當局として是非注意して頂き度い事はまづ流感である今回のは發病後少し油斷すると惡性の呼吸器系や消化器系の病氣となり安いから

特に 注意され度い、殊に十二三歳以下の子供は一寸した食ひ過ぎや不消化物攝取が原因で赤痢乃至疫痢の誘引になり易いから熱が下り元氣だと云つても油斷すると取り返しのつかぬ事となるから充分注意されたい、一般の人は傳染病は非常に恐ろしいと云ふ事はわかつてゐるやうだが日常の行動を觀ると大に矛盾してゐる、係のものが赤痢その他の傳染病の消毒に取りかゝらうとしてゐるのを押しのけ見舞品を持ち込んだり、分院につれて行かねばならぬ子供を運搬車の到着前隣家に預けたりなどする人がある、預かる方の迷惑は勿論のこと病毒をわざと擴げるやうな結果になる、斯くの如き場合は外面

人情 を缺くやうに見えても公衆衛生の立場から合理的な交際法をとつて頂きたひ、次に通學生を持つ父兄に御願ひしたいのは多數の子供の内には靴下のみで學校の廊下を往來してゐるのを見受けるが、學校内に病毒があつたとすればその靴下で家に歸へり疊や布團になすりつける事となり傳染病豫防上甚だ危險である、且つ上穿を學用品のなかに入れて歸へる子供も見受けるがこれ等は簡單な袋を作りその中に入れ携帶するか校舍の一定の場所に置くか何れかにしたいものだ、この事は各學校長にもお願ひしてあるが家庭でも細心の注意をされたい、要するに一般居住者の安全と

幸福 を保證する意味に於て病毒を擴げないと云ふ事に呉れぐも充分注意されたい

長春警察署の手に逮捕された

朝鮮革明軍の三首領

寫眞は前列向つて右から長春署の手に捕はれた朝鮮革明軍の李鐘濟、朴雲頭、金光烈、中列向つて右から二人目武波署長その隣りが井上高等主任

政局大觀

安達系宇垣系抗爭と幣原首相代理の地位

(三) 旭東生

茲に最も注目すべきは宇垣陸相の意圖で其禁望は陸軍を代表するものがあり政治的識見に於ても必ずや未來に光輝あるべしと期待されてゐるが黨人を走狗の如く見る財閥者流はヨリ陸相の實力を視野に措くやうである、畢竟政黨の力を之を奪ふべく金のかゝる選擧を契機として十分に把握されてゐるけれども陸軍はさうでない、卽ち黨人ども御し易く陸軍與し難しと見るので政黨者流の政治戰線を見る眼と資本主義主體の政治的視野の相違は安達内相よりも宇垣陸相の近き將來を重視される現内閣濱口首相は特に陸相を優待し永らくの病氣にも其職を解かず辭意を容れずして無任所大臣の特例さへ開き其快癒を待つた宇垣陸相に依らざれば殘れる重要政策たる陸軍の軍制改革が出來ぬといふ國家須要の期待もあるが轉じて變轉し展開さるべき政治的歸趨に於て恰も故田中男を政友會總裁たらしめたやうに宇垣氏を反對黨に送るが如き懸念と用心がないとは誰がいへやう今は民政黨内閣の一員として納まつてゐるけれども其環境は堂々として他を拔んでゝゐる若しも宇垣陸相にして其全癒登省が今十五日早かりせば臨時首相代理は當然其頭上に落ちたのではないか僅々半月の差にて幣原外相の代理任命を見たのは自然か不自然か分らなくなる

×

而して首相代理問題は唯一に民政黨の所謂安達系に向つて抗爭され黨人擁立に對する黨人排斥の事象を現し幣原外相と同じく黨人ならざる陸相の方は問題にならなかつたが併しながら此間所謂宇垣派＝若くは宇垣系なるものゝ存在が傳へられたので事は首相代理問題を一足飛びに飛躍して後繼首相に擬するかの如く見分られた尤も其運動は所謂陰謀組と稱せらるゝ民政以外の低劣分子の押賣もあつたけれども民政黨中宇垣系と傳へらるゝ者の中に富田幹事長を指す者あるに至りて識者をして此所にも政治機構の微妙なる惡辣なる戰術の伏在を看取せしめた世間富田幹事長を宇垣系の人物なり其運動に參加すべしと言つた所で誰か直に首肯すべき

×

富田氏は土佐政界の古猛者で政治家としては濱口首相の先輩であり其地盤迄割いて首相の政治的進出を擁護した人自由黨より轉々して民政黨の重鎭とたりと雖も今や民政黨の重鎭として濱口首相とは切つても切れぬ仲である其人が宇垣陸相を擔ぐといつても濱口首相病臥するも現存せる今日容易に信ぜられぬが尙且つ宇垣系と傳ふる消息に安達系との對立を思はしめ抗爭性を誘導して漁夫の利を得しめんとする智略を推及するかくして黨内の抗爭若し高潮に達せば宇垣系對安達系共に傷つきて殘るは濱口首相――幣原臨時首相に歸結する他力を利用して他力を斃す戰術が應用さるゝものと見るのが議目だらうか

×

富田氏が現在の環境に於て濱口首相を離れ又國を同うする三菱財閥に反噬するものとはどうしても受け取れぬかくして黨外に重きをなす宇垣陸相の身邊は天下事ある毎に多事を加へるが更に言論壓迫問題に關聯して陸相の政治的陰謀を唱へ其行動を調査すと傳へらるゝに至りて閣議に於ける陸相の憤激を報ぜしは如實に安達内相との抗爭を構成したもので兩者反目して互に傷つくが如き過程を想像して描出したる作者は果して誰か其松田拓相が陸相に關して安達内相を誣れる如く報ぜしは見方に依りては過分の失策ではないだらうか

×

拓相は大勢を察し又自己の過去の黨派關係と安達氏との個人的關係…より幣原外相に賴ることを表示したことになる而もこれ等言論壓迫問題に關する各種の報道は事實と相距るものも少くないが兎に角にも安達系の進出に打擊を與へ又所謂宇垣系の對安達系抗爭を意味して獨り超然たる幣原外相の地位を安固にした結果となるが此結果こそは惡んで巧妙に獲得した作者＝其何人たるかは大概想像はつく＝の功績であり次第に幣原首相代理が安定して來たので來るべきものは幣原首相問題であらう

×

首相代理問題を爭ふ所以のもの要は代理の二字の解脫を完全に意識する過程の鬪爭であつて今や病首相を完全に把握せる三菱内閣の政治機構が故加藤――濱口――幣原――と順を追ふて他の力を排しつゝ徐々に進んで來る

尋常三年以下 幼稚園遂に臨休

猛威を揮ふ流行性感冒

全撫順をなめつくさんと猛威を逞しうしつゝある流行性感冒は既報の如くであるが、新患者ますく續出の兆にあるので果然永安、新屯、千金の三小學校、尋三以下永安東鄕、千金の各幼稚園總計一千六百八十八名は差當り三十日より二月二日まで臨時休校の止むなきに至り、その結果を見て第二段の策を講ずる事となつた

撫順市場の 中央大街進出

漸く一般から叫ばる 現位置は需給双方に不便

全撫順約六萬人の日鮮支人(附屬地のみ)日々の食膳に缺くことの出來ぬ野菜類を供給する「撫順市場」多年の懸案たる中央進出計畫が今一息で完成せんとしてゐる、移轉候補地としては需供兩方面に最も都合のよい中央大街郵便局横の空地である、現在の市場は需要者側から云ふも不便なる東二條の片隅にあり

公共的 設備たる市場の機能を發揮するには餘りに不便である、在住者はもうこれ以上忍べない是非とも交通至便の地中央大街附近に移轉して貰ひ度いと云ふ…ゐない、現在の所で店鋪賣上高の現狀のまゝに推移するなら市場關係各商店全部は近く破産するの外ない窮狀にある、市場は今日までこの地の利を得ざるおぎないをするため赤札デーとかその他利益を度外視してまであらゆる顧客吸收策を講じて來た、而し根本に於て不便至極の場所である關係上客足は依然減る一方で將來とも斷然見込みがない、元來市場は

公衆の ものである、それには大衆の足の自然に向く處でないと設置の意味をなさない、大連の中央市場が常盤橋停留場附近にある如く撫順人が最も吞吐する停留所で大連常盤橋停留場に該當するものは西五條停留場である、夏冬を問はず一番人の乘降する西五條停留場と目鼻との間にある前記中央大街局横は消費者に至便の地であると共に東鄕、老虎臺、龍鳳乃至永安臺等々各社宅街の奧さん連が毎日病院、局、銀行等に所要あり町に來るものは冬は尙一日一千人を降らない

市場が 局横に出來れば嫌でも市場を覗くそしてより新鮮にしてより安價な魚菜類を自ら選擇して買つて行く、從つて支那人行商等から古くて腐つて高いものを賣り付けられるより如何に家庭經濟の合理化を計り得るか思ひ半にすぎるものがある、尙現在千金寨の野菜市場は嫌でもなんとかせねばならぬ現狀にある、その理由は野菜類の主産地は東部たる撫順城附近が九分通りを占めてゐるのにわざく新市街を素通りして遠く千金寨まで運搬してゐる如きは生産者としてもやりきれまい、昨年の如きは出荷者の任意自由處分を路傍でやるもの續出での

取引高 は相當の額に上つたが、斯る現象は市場存在の目的に反し道路でやられたのでは交通妨害となつて保安上からも重大問題だ、又市場としての搬入品取扱ひの統制を保つ事なども思ひもよらぬ等の見地からその移轉が叫ばれてゐるが、中央大街に中央市場を移轉すればその問題も一擧にして解決する、卽ち各道路に面した方を小賣商店としその裏側で日本人向きの野菜は綺麗に賣る事も出來る、そして純支那人向きのものだけ千金寨の現市場へ送ればよい、尙新興撫順と誇稱する新市街の目拔の場所にペンペン草をはやしゴミ捨場か犬の遊場にしてゐるのは市街美の上からも全く感心せぬと云ふにある、上述の如く一般輿論需給双方面の便利等から建築費の最も安い昨今前記中央大街の

一千坪 の空地を利用して撫順中央市場が建設されんとしてゐるのである

長春

捕へた不逞鮮人は 到る處で殘虐行爲

山岸部長もその一味に殺された

既報長春署未曾有の大捕物だつた不逞鮮人巨頭三名は

元朝鮮革明軍第九聯隊長
現在滿朝鮮革明軍司令部秘書
李鐘濟(二四)

元朝鮮革明軍第九隊長
現在滿朝鮮革明軍司令部特務
第三隊長
朴雲頭(二七)

元東亞革明黨主領
現、鮮革明軍司令部最高幹部
金光烈(三五)

である、肩書の示す如くいづれも在滿不逞鮮人の最高幹部でその兇暴振は言語に絶するものがあり在滿の我が官憲は夢寐にも忘れ得られなかつた重大犯人である、朴は大正十三年頃中日共同討伐を三道溝方面で行つた際支那官憲に逮捕されたが歸化を楯に支那側から引渡しを峻拒した者で今回自白の手懸りとなつた左掌の傷はその際受けたものである、彼等の殘虐の足跡は到る處に殘されてゐるが、長春署の山岸部長は正金銀行裏手で一昨年李の部下のために射殺された、彼等は孤楡樹方面から最近は吉林方面にその情報も傳へられたが、果然二十八日范家屯驛から長春行列車に投じたもので、最近の動靜その他に關しては目下嚴重取調中である

眞に天佑だつた

井上高等主任語る

全滿を戰慄せしめつゝあつた不逞鮮人の三頭目を逮捕した二十九日の長春署内は、武波署長はじめ署員はいづれも歡喜に溢れてゐるが、井上高等主任は喜色滿面で語る

范家屯から手配があつた時にはこんな大物とは思はなかつた、取敢ず部下十名ばかりを引率して驛に張込んだが午後七時着列車の乘客が殆ど出てしまつたがそれらしい者が居ない漸く驛前派出所前を馬車二臺で逃走しやうとする鮮人三名を取押へて本署で取調べたが自白しない、手懸りは朴の拳の傷から遂に二十九日に到つて自白した譯だ、拳銃を持つてゐなかつたのは眞に天佑だつた、最初は日本橋方面に怪し者が、といふので捕へて見ると安東署の並松警部補だつた、といふナンセンスもあつた

熊岳城

簡易砂湯 浴場施設

永年鶴首してゐた熊岳城溫泉砂湯及び入浴場新築の認可が來た

一、位置 熊岳城溫泉砂湯附近
二、構造 龜甲形外部硝子張、屋根木造、内部男女別砂湯及び浴漕(五十人入設備)
三、坪數二百五十米突平方(約八十坪)棟の高さ約五米突
四、着工 四月下旬 五、竣工豫定 七月下旬
六、設計、目下本社建築課に於て設計中
七、設置の目的 イ、極めて安價に而も愉快に入浴の出來る樣沿線客の利便の爲め ロ、從來は冬季間における室内砂湯の設備不充分なりし爲め冬季客の利便を計る爲め

鄭家屯

馬賊バス襲擊

廿四日鄭白線通遼より開魯に向つた乘合自動車が途中消德營子に差懸るや約二百名の馬賊團に包圍襲擊され金品を强奪された而して同自動車には邦人一名の乘客あつたが所持金五十圓及び外套を强奪された開魯に同日午後八時到着した現下舊正月前であり又銀安の爲め生活に窮する者增加し各地に馬賊の出沒するありて該地方は人心恟々の狀態にあり殊に夜間の旅行は危險であると、又四洮線三江口附近にも約二百名の馬賊團が出沒したとて二十五日鄭家屯より公安隊が討伐に出動した

特產物買占め 獨逸人來往

在營口德茂洋行店員ドイツ人一名は二十五日四平街より鄭家屯に來り支那側特產商より芝麻の買占め方契約したとの噂あり、來る解氷期に打通線を利用し輸送する筈

稻田氏送別會

鄭家屯滿鐵公所を辭任せる元試驗所長稻田袈裟義氏の送別會は二十二日午後四時より鄭家屯ホテルに於て官民合同の下に開催された、集まつた人は大和久鄭家屯領事外官民約六十名互に別れを惜み時の過ぐるを知らずして午後十一時散會した、而して氏は家族を取纏め二十四日午前十時鄭家屯發の列車で郷里宮崎に向け出發した

安東

安取市場に 五品株上場問題

當局に認可申請が

安東取引所は既報の通り銀價の變動から躍進的活況を呈しつゝあるが同所減資斷行後は内容の充實と共に同所株の昂騰著るしく既に鮮株にて搬込額を突破し尙昂騰の氣配を示しつゝある際大連五品取引所にても最近愈々安取株の上場を開始し地場にて十三圓乃至十三圓七十錢の呼値を稱へられて居るにも拘らず五品は十四圓乃至十四圓四十錢の呼値を稱へられる等五品における安取株新上場は頗る注目されてゐるがそれと同時に安東株式市場に於ても相對的に滿洲取引所標準株たる五品株を上場すべしとの議が唱へられ相當具體的の意見も開陳されつゝある模樣である、ため安取理事者においても目下考慮を拂つてゐるが或は近く監督官廳に向け五品株上場の認可申請に出づるにあらずやと觀られてゐる

安東豆粕の 宣傳ビラ 需要地に配布

安東豆粕界は既報の通り引續き活氣を呈してゐるが最近滿鐵側が共通混保制を實施したる結果として大連、奥地とも一律混保粕は四十六斤となり安東粕四十七斤に比して一斤の大差を生ずる事となつたため實需期を目睫にして安東粕が混保品に比較して一斤の大差ある點を以て消費者にとり極めて有利なる點を宣傳するため近く安東粕宣傳ビラを消費地たる朝鮮方面へ配布する事となつたが近く破安界も協定成立し價格の引下を防止せんと計議しつゝある際でもあり殊に昨年中は混保粕に物議を釀したる事實もある際混保粕に比較して一斤增しの安東粕の劃期的宣傳は其の實質と伴つて絕大の效果あるものと期待されて居る

舊年關と支那街

銀安に拘はらず殷盛

舊年關の接近と共に銀安に依る大影響を蒙つた安東支那街の財界は一時極度の不安に襲はれつゝあつたが年關の接近と共に特產中柞蠶豆粕の荷動き活潑となり現在の處恐慌不安は一掃されるに至つた支那街財界と常に密接の關係にある滿鐵安東支店山内支配人の語る處は左の通りである

支那各地が銀安の影響を蒙つた事は爭はれない事實であつて各地の財界は案外傷手を受けてゐるが幸ひに安東の支那街は地場の力が充實して居る關係からか他地に於けるが如き不安は目下の處認められない、特に舊年末から特產界が活氣つき殊に柞蠶界未曾有の活況から支那街の金融上も其の影響を受けて案外な好轉を示して居るので此分では何等の不安もない模樣である、特に柞蠶界の活況は素晴らしいもので自分も養蠶を私用にて歸國の序を以て繭元たる繭井、岫巖方面を一週間に亘つて調査視察を遂げて歸つたが繭井の如きは生糸界も人絹界も孰れも採算立たず只獨り柞蠶界だけが活氣あるため各繭元は殆ど柞蠶に轉機するといふ狀態であつて其の活氣ある事を目擊して一驚を喫した次第である、繭元の狀態が叙上の如くである爲め柞蠶絲の供給地たる立場にある安東の爲めにも甚だ結構であつて其の結果金融上にも好影響を齎した事は何よりである云々

失業鮮人 救濟協議

密輸取締令により安東居住の失業鮮人はその數約二千乃至二千五百名と謂はれこれが救濟に對する方策に關しては過般來安東領事、安東署、地方事務所、朝鮮人會其他有力筋にて調査研究が續けられて居るが第一應急の救濟具體案協議の所謂圓卓會議を二十七日午後二時から安東領事館に於て開催した列席者は井上地方事務所長、高山署長、井上驛長、小林滿鐵工事々務所長、中島鴨綠江製紙理事、春日富士紡工場長、金井日陞公司主、準鐵作業所主任等で先づ米澤領事より密輸問題其他に關する經過報告並に挨拶ありて協議に入つたが何分失業者と見られる者が約二千人以上にのぼる處へ是等を臨時にでも採用すべき諸工場は財界不況の爲め殆ど休業の狀態に置かれ現在操業しつゝある製紙、富士紡日陞等も人件費を極度に切詰めて居る有樣なので大體發するとするも三十名乃至五十名程度の採用以外は不可能である爲め差當り朝鮮人婦女子の雇傭周旋所を設置して此の方面に力を注ぐ事となつた模樣である、第一回會議は此の程度に止められ午後三時半閉會 第二回圓卓會議は近く開かれる模樣

沒收品の 歸屬異議

最近密輸取締が嚴重を極むる結果毎日の如く活劇が演ぜられてゐるといふ話であるが一方においては

大石橋

佐野主計總監巡視

關東軍經理部長佐野主計總監は廿八日午前九時より大石橋守備隊の初度巡視した

三宅參謀長視察

關東軍參謀長三宅少將は廿九日午後四時五分第十二列車にて來石し三十日午前九時より大石橋守備隊の教育狀況を視察、第十一列車にて北行した

將校劍術試合

目下寒稽古中の當地守備隊將校團においては來る三十一日午前九時三十分より寒稽古終了試技會を滿鐵道場に於て行ふ

教育座談會

當小學校に於ては各通學區別の教育座談會を二ケ月毎に開催してゐたが今回は一緒にして廿九日午後一時半より小學校講堂に於て開催、左記諸氏の講演あり懇談會裡に午後三時過ぎ閉會

業外線と保健衛生(仁村内科醫長)人工太陽燈に就いて(愛甲電燈會社專務)兒童の保健上御注意を願ひ度き諸點として(營口小學校長)

鐵嶺

昨年中の 犯罪件數

鐵嶺警察署において昨年一月より十二月末まで滿一ケ年の間に取扱つた犯罪統計は左の如く夥だしい數字を示した

犯罪件數一五四件、檢擧件數一二七件、檢擧人員一〇五名、檢擧比率八割二分

尙犯罪被害國人別と檢擧數率を示せば

	被害件數	檢擧	比率
日人	八五	六一	〇・七二
鮮人	六	四	〇・六六
支人	六三	六二	〇・九九

而して犯罪種別は矢張り戶締不注意により忍び込みが最も多く强盜四、空巢忍び込一三、在宅忍び込一七、破鑰忍び込一四、スリ九、掻つ拂ひ一九、萬引三、使用人竊盜三、友人竊盜二がその主なるもので被害金品別は(圓)

	日人	支人	鮮人
現金	三四一	三五	一〇〇
物品	三六六一	一九〇	二〇〇

右の中檢擧(贓品發見)比率は二割一分に過ぎず犯人檢擧に比して被害品の取戻しは頗る困難で此統計によつて見ると在鐵僑二千餘の邦人は一日平均十圓强の金品を泥棒に捧げて鬱つてゐるやうなものだ

旅順

水師營一帶に水道を設備
愈よ本年工事着手

[illegible]總經費一萬一千餘圓にて實現の曉は水師營一帶の喜びは勿論公衆衛生上に及ぼす結果は甚大なるものと思はれる

町内正副總代聯合總會

旅順市各町正副總代聯合總會は二十八日午後六時から青葉に於て開催來賓として米内山署長事故缺席の他永山市長臨山助役列席總員二十六名にて定刻聯合町内會幹事齋藤幸次郎氏より前年度の庶務會計報告あり次いで役員の改選を行ひたる結果石井本一、齋藤幸次郎兩氏重任となり山縣富次郎氏青葉町内總代を辭したる爲め代つて敦賀町總代島村紋太郎氏新に幹事に選任せられそれより新年宴に移り歡談笑語裡同夜九時頃散會した

ショファー會 春季總會

在旅自動車運轉手を以て組織されてゐる「ショファー會」の春季總會は二十八日午後六時から君の家樓上に於て開催大橋會長より前年度の庶務會計報告ありたる後各自の意見交換を行ひ終つて役員の選擧を行ひたるがいづれも前年通り會長大橋喜平、副會長津田雄二郎、幹事安土春雄、小島正司、島田音松、小田益人、山本寅吉の五氏重任し前梅宮幹事辭任に就き消防隊の秋谷保氏推選され夫より新年宴を開催盛會を極めた尚桑村前顧問退職せるため門脇保安主任を新顧問に推薦した

流感は次第に惡性となる
一般に注意が肝腎

猛威を振ひつゝある流行性感冒は依然終熄の模樣なく學校方面はマスク、含嗽の勵行で稍下火の兆候あるも油斷を許さず市中側の發生は依然として猖獗を極めてゐるから一層の注意が肝要であり且又新患者の症狀は逐次惡性を帶びつゝある事が發見されたから殊更これが豫防に全力を傾注すべきであると醫院側でも憂慮してゐる

舊年末警戒

不況、銀暴落、舊正月の切迫に連れ中國人側の商業戰線、生活の困苦等不安なる現狀に鑑み旅順警察署にては特に昨今の盜難豫防に力を注ぎつゝあるが目下各村落共農家の閑散時なるを以て此際各部民に對し盜難強盜火災等に對する豫防法又は事故發生時に際し採るべき適當なる方法に就き講演又は指導を行ふ事となり近く各村落派出所に命じ夫々實施せしむる由である

黄金臺

第二遣外艦隊では來月十四日富士池リンクにて全隊員の大々的スケート大會を開催すると

◇

在旅加越能鄕友會新年宴會は三十一日午後六時より瓢亭に於て開催の筈であるが會費三圓五十錢有志多數の參會を乞ふと

◇

旅順輸入組合では三十日午後七時より乃木町語學校に於て曩に開始した複式簿記の修了證書授與式を行ふ由

◇

歐米派遣を命ぜられた關東廳旅順醫院眼科部長宮下忠雄氏は三十日午前七時二十五分旅順驛發列車にて知友多數見送裡に出發したが家族は依然旅順に卜居すると、因に氏は二十九日各方面を歷訪挨拶を述べた

◇

二十九日午前四時頃旅順管内龍王塘西三一の物置小屋から發火高粱殼を燒失損害約二十圓位人畜に死傷なく原因不明

◇

二十八日夜八時頃十年町日雇苦力劉文通（五二）方で仲間の者六名が車座となり看牌を開帳中一網打盡に檢擧された

市中の噂

目下猖獗を極めてゐる流行性感冒に重砲兵隊の家族連に注意して第一線の夫君より後方勤務の戰線大に異狀を呈してゐる▲處が流感の偉力益々その性能を發揮して數日前から隊長渡邊大佐として連日發熱三十八度より四十度を上下し大に惱ましたので樋口副官、切に後方移動靜養方を進言したが頑として應じない今は「トゥく此頑艱苦鬪を突破して昨今は「大隊長室異狀なし」と折紙がついた▲武骨一片でない渡邊隊長がなぜ副官の忠言を容れなかつたと云ふと隊長は今日迄約三十年間の軍人生活中只の一日も缺勤した事のない稀に見る精勤者であつて此記錄に汚點！を殘す事が四十度の發熱より餘程苦かつた爲め…▲流石武人、三十年間一日も缺勤なしとは確に珍しい、厚東司令官、家原軍醫正も共に賞讃してゐた▲醫者に云はせると今流行の感冒か何か二月中旬頃迄打ちつゞく場合は大に警戒を要するそうで非常に惡性となる他途には死亡率迄ましはせぬかとの懸念があるそうだから各自御用心々々▲隨つて今までの罹病者は一種の免疫となつてゐるが二度の風引きは又別段の注意を要するそうである

生れた人

▲明治町一八　教員中島一氏長男　慶君二十日出生

死んだ人

▲千歳町　山口喜一郎母とよ（七七）二十八日死亡

お詫び

卅日附本欄で不注意のため標題「生れた人」と「死んだ人」と入れ違へ、關係者に御迷惑を相かけ申譯ありません、謹んで御詫び致します（係）

八相

投書歡迎　中傷を目的とするものは採らず　新聞行數五十行以内のこと。

守中大連醫院長に　敬生

守中博士は二十七日夜、大連市中の知名士、同業者などを招待してヤマトホテルに披露宴を張つた。アザートコースとやらによつて田中市長の謝辭があつた。それから果物も出、コーヒーも出た頃、一隅に聲あり、聲の主は滿洲報社長の西片朝三君である

◇守中博士に二ツ希望がある。それは大連醫院のやうな大病院では院長の事務と診察とを分離されたいといふこと、それから一ツは大祭祝日などに全醫員が休まぬこと、と述べ立てる。それに拍手の贊成をしたのが吉川電通支社長。眞逆に西片氏は專門が專門だけに非常に穿つたことを述べられたものだと好評嘖々。

◇だが敬生はも一つ大連醫院長の守中博士に注文がある、といふのは外でもない。看護婦の事だ

◇良國手の手前、こんなことを申すのは失禮かも知れぬが、病氣は「藥よりも看護だ」といふ。得て病人といふものは神經が過敏になりたがるものである。

◇そこで看護婦といふものが病院構成の重要なる分子となることは申すまでもない。

◇然るに如何、わが守中博士の大連醫院の看護婦達（敢て大連醫院とばかりはいはぬが）はあの立派な堂々たる建物に恥ぬところがないであらうか。

◇敬生は第一にお願ひする。守中先生が第一に着手すべきものは西片君の說もあつたが看護婦の品性向上ではあるまいかと。

開原

關野輸入組合理事

開原輸入組合理事關野芳造氏は奉天輸入組合事務所にて二十八日午後一時より開催の仕入商品取引上の仲介連絡に關する打合せの爲め奉天、鞍山、遼陽、本溪湖、撫順、鐵嶺、開原の七組合理事會に出席した、なほ當組合には土産商品として米及び木炭を選定し取引仲介を斡旋する事となつた

軍人分會長後任

開原在鄕軍人分會にては三田前分會長の後任推薦問題に關し過日評議會を開催し協議の結果、滿場一致を以て開原驛長利光正路氏を推擧する事に決し同氏に交涉中のところ二十九日就任を承諾した

貔子窩

兒童が肝油服用

貔子窩小學校にては兒童の榮養增進のため肝油服用につき過般父兄の承諾を得て準備中であつたが、愈々二十九日より毎日學校に於て希望兒童百三十餘名に服用せしむる事となつた

兒童慰安音樂大會 今夜公會堂で

大連、滿日兩社主催有志後援の兒童慰安童謠、舞踊、音樂大會は愈々卅一日午後五時から公會堂にて開催すべく番組左の如し

▲曲目　三曲、琵琶、ハーモニカ、ピアノ、マンドリン、ヴァイオリン其他
▲入場料　無料公開
▲音樂演奏者　貔子窩同好會員
▲童謠舞踊出演者大連青い鳥子供會員

四平街

公學堂入學の志望者增加

四平街公學堂は來る四月入學すべき初級一年生約六十名募集を曩に發表したが既に申込四十餘名に達し尚連日續々申込み來るの盛況にて學校當局はこれが受付に忙殺されてゐる狀態にあり、而して昨年は六十名募集に對して百八十餘名の應募者あつたが本年も申込締切日である二月十日迄には或はそれ以上の申込者ある現勢であるが學校當局はこれが選拔法を考究中で可成り公費納付者又は邦人關係者の子弟の優先權を與ふる由につき左記了知の上申込まれたいと

入學人員　初級一年約六十名
申込期日　二月十日
申込法　保護者同伴學校に出頭せられたし
入學考査　三月七日午前九時

義士會は一日

二月一日は陰曆十二月十四日に相當するので當地教化聯盟、在鄕軍人分會、三州會の三團體が聯合して同日午後七時より四平街倶樂部に於て義士會を開き地方名士の講演に亞ぎ數番の餘興を演じて四十七士の英靈を弔慰する筈であるが尚當夜參集せる人々にはお供物を分與すると

鞍山

鞍山小學校の上級校志願者

鞍山小學校より本年上級學校へ進むものは未だ確定的ではないが大體左の通りで女子の方は鞍山外に出るので自然經費が男子より餘計いに用することゝて不況の折柄例年に較べて可なり減少してゐると

▲鞍中志望　六年より三四、高一より四、高二より三、計四六名
▲長春商　高一より二、高二より一、計三名
▲旅順高女　六年より六名
▲奉天高女　同二名
▲撫順高女　同二人

其の他安東、大連、大連女子商及内地へ各一名宛あると

家庭婦人に養鷄趣味普及

一般家庭婦人に養鷄趣味をひろめる爲め農務係が仲介の勞をとつて昨年九月希望者を募つたところ約二十餘名で二百羽ほどの應募があつたが發送地の關係で時期おくれとなつたので昨年到着したのは僅二三十羽に過ぎなかつたが本年は大々的に勸誘しひろく一般家庭に普及し尚卵の如きの販路又は養鷄法の指導に就ても盡力することになり農務係では今から準備を進めてゐる

田園地帶を旅して
滿鐵沿線に働らく人々

—（二十四）—

生　波　難

天は自ら助くる者を助く、人の懷勘定は判らぬが、難波君の農業生活に關する遣り口を、私は少からぬ興味を以て觀察した、就中注意點は家畜及び雇人の勞力を、成るべく經濟的に利用して居る所にある、極度に發達した日本内地の集約農と異り、滿洲の田園經營には比較的多く人手を要する、年々多數の苦力群が、農繁期目覓けて飛來飛去するのもその爲めだ、假に事も機械化された米國では、そうした人手が機械力に依て省略されるが、今の滿洲農業は未だこの境界に達して居ない、結局文化と資力との缺乏を語る者で、機械農業を遣らうとすれば、吉見君の所謂資本問題が起り、傳統の舊の耕作法を墨守すれば、總ゆる生活樣式を、土着民の程度まで引下げればならぬ、理窟は至極簡單だが實行は頗る困難だ、何となれば民族には民族固有の風俗習慣があつて、短日月にそれを改變することは出來ぬからだ、現に米國かぶれの機械萬能論にしても、曾てそうした教養と經驗のある人々はいざ知らず日本仕込の農業者には決して容易でない、況んや日本人には日本人の長所があり、滿洲には滿洲自然の特異點あるをやだ、難波君は其處に着眼した、君の遣り口は無意識的にこの堺にはまつて居る、と私は許したい

○——○

それは農繁期の勞力利用だ、私は嘗に水田農業者の冬期に於ける苦痛を一言したが、少くとも畑作には牛が必要だ、少くとも朝鮮人は牛の愛用者であり、且つ驢ほど飼料に骨が折れない、第一牛馬の自然がそう習慣づけて居る、併し滿洲では牛よりも馬だ、原因は冬期の馬車輸送にあつて、南滿北滿の地方色を濃厚に看取し得るが、牛にはこの利用法がない、否それは獨り牛許りでなく驢も同樣だ、現に冬期馬を使用しない農家では、晩秋それを賣拂つて春季新たに買入れる、南滿到る處に家畜市の立つのはこの必要からだ、世間動もすれば支那人は算盤が細かいといふ、併し支那人のみでない誰もそうあるべき筈なのだ、人の勞力にしても、成るべく手慣れた常傭者を保留して置くことは、人情からいつても理窟からいつても、好ましい必要條件だ、家畜は無印の優勝手に出し入れし得るが、人間は必ずしも一律に論じにくい、人と人との信賴心が事業上最も堅い基礎であり、その信賴心の濃度は、傭者被傭者の接觸が永續すると否とに依つて胚胎する、隨つてそうした意味の擴大は、何時しか趣り易い民族的親疎の別を除き得る、意識的にか無意識的にか、難波君が常傭者の大部分を、農繁期にも農閑期にも引續いて働かせ得る方法を案出して居ることも、その爲に脇目もふらず懸命に働いて居ることも、私は賢い合理的經營法だと讃稱して已まない

○——○

更に氣附いたのは奥地今後の耕作物だ、世の滿洲農業論者は、何時も成功の例證を大石橋以南の現狀に置き、奥地のそれに就ては、唯だ廣大肥沃な富源だと許り、邦人の入植が可能だとも、不可能だとも、ハッきりした意見は却々述べない、四條派の墨繪のやうに朮かしてのみ居る、之は專門家なら私の彼此いふ筋合でないが、ビート栽培の如きは確に有望だ、一時それを耕作した經驗家は異口同音に證明して居る、が、それには事業が起されればならぬ、現に呼河流域には實例が少くない、尤も好景氣時代に南滿製糖工場が創立された、鐵嶺奉天間に甜菜栽培が着手されたのもその爲だ、併し肝腎の製糖會社は潰れた、潰れぬまでも氣息奄々だ、それを或人は事業の前車の覆轍だ、一千萬圓の豐資を以てすら失敗したといふが、私はそうなる譯だと思ふ、何となれば如何に資力が豐富でも、高級な月給生活者許りの寄合では成功しない、株を目當の[illegible]の行末はいつも那うだ、糖業の本場臺灣でも、臺南製糖の如きは慘めな狀態である、鉦や太鼓で呼寄せた新滿村は、甘蔗を作つても代金が貰へぬ、この意味から私は甜菜栽培を、奥地農業の有望な一新題目として、規模は小さくとも、之を助成する爲め眞面目な加工業が、新しい方針の下に起されて好い時分だといひたい

道衡詩話

勞君勉又有詠荔枝灣七律二首　可爲研究廣東風土之資料　錄之
羊城西畫繞江灣三五漁家近市闤欸一溪紅欲滴草深崗岸綠斜彎坡仙爲口饞風骨（東坡初食荔枝詩風骨自是傾城姝又句我生涉世本爲口）妃子同眸破笑顏落日放船流欲斷衣香鬢影錯爛斑
一舟樹下納微涼隱葉風枝透暗掛綠（荔枝名）聲聲呼蠻女踏青隊隊見珠[illegible]清流今已成濠涌九物天教出水鄉十里晴川煙靄裏木魚低唱倩飛觴

映畫物語　八荒流騎隊（10）
直木三十五原作
東亞キネマ特作品

興國篇（三）

月はあつたが雨雲に蔽はれて京洛の天地は、全く墨のやうな闇の中に包まれてゐた。

時節柄、御用繁多、京都守護職會津中將松平容保は其の日も御所を夜おそく退出した。

夜更けて人影のない烏丸大路を行列は粛々と進んで行つた。

突然、何處からともなく黒衣の武士が五人、不意に行列の前を遮つた。

「我々八荒流騎隊、天下の爲に會津中將の御首頂戴に參つた」

絃四郎、叫ぶや否や、血祭の一刀、サッと先供の一人へあびせた

定紋打つた提灯がパッと裂け、キラリと光つた刀光に、眞紅な血潮がサッと散つた。

「それッ」

殘りの四人は切尖を揃へ、ツツ、、、と多數の供人の中へ斬り込んだ。

と見た絃四郎——

「おゝ、業は頼むぞッ」

云ひ殘して、フッと乘物に近づくや

「會津中將御覺悟ッ」

云ひもおかず——ブッスリ……一刀乘物に突き立てた。

同時に——

「アッ……」

絃四郎の叫び、

「失まつた、計られたぞ、空籠だッ」

敵もさるもの、計らんとして計られた絃四郎一味、八荒流騎隊の面々、地團駄踏んで口惜しがつた。

しかもその上、絃四郎の後からカラ／＼と豪放な笑ひ聲が聞えて來るではないか——

「何奴……」

見れば何と……身仕度ものへた新選組隊士を引つれた近藤勇が颯爽として立つてゐるではないか——

「會津公を狙ふ不敵の曲者、新選組の近藤勇ぢや、鎮れ！」

「戸波絃四郎、相手にならう」

云はれて近藤勇、あらためて絃四郎の顔を見た。

「うむ、いつかの若者か、約束通り虎徹の切れ味見せうか」

「問答無益……一同死力をつくして血路を開け、再擧を期そう、近藤勇の相手は俺がする」

ピッタリ刀を正眼につけてジリ／＼と勇につめ寄つた。

近藤勇も愛刀の鞘をはらつて、同じく正眼につけた。大事をとつた構へである。

相手は大敵近藤勇、手合せは初めてゞあるが、腕前は聞きしる處。絃四郎の眉があがつた、必死の覺悟。氣魄を心池丹田に沈めて凝と敵の發機を覗つた。その切尖は、恰も水の面に散つた一枚の笹の葉の如く、柔かに浮動してゐるが、その靜けさの内には、やがて神速發矢の機を得、風雲を卷いて起るべき鬱勃たる精力が凝縮せられてゐる。

「えいッ！」

暗中に勇の鋭い氣合、同時に刀を片手上段に振りかぶつた——

「ヤッ！」

絃四郎の唇から、若者らしい熟した氣合が走つて、勇の氣勢をぴたりと抑へる——

腕は五格か？迫つた氣合がしばらく續いた。

はつ……と絃四郎が息を詰めた、いかなるすきを見たか……る間もあらず、勇の刃は、冷たい風を呼んで流れ星のやうに白い光を引き乍ら、絃四郎の眞つ向から落ちて來た——

「エイッ」

夢中で體をかわし乍ら、ヒューッと振つた絃四郎の夢想劍——

「アッ」

と云ふ叫びが二人の口から同時に洩れた。

おゝ、ピッタリ元の中段に構へた二人の右手からは、いづれも紅い糸のやうな線を引き乍ら、血潮がしたゝつてゐる、相打ちであつた。

時に、勇の背後、更に一際暗く、人ありとも見えなかつた闇の中から

「えいッ」

鋭い氣合。一瞬を措かず、勇を狙つて刀の小柄が飛んで來た。

同時に、パッと斬り出した黒影一つ——

「御助勢！」

云ひつゝ勇の刃をパチリッと撥ねつて絃四郎の側へよろと見る間、彼を抱くやうにして闇の中へ逃げ込んだ……

あとに殘つた近藤勇——

「薄手にしろ始めて俺の血を流した奴、頼もしい相手ぢや……それにしても今の助太刀、小柄の飛ばし樣、腕もたしかと見えた。それに男裝はしたが聲はたしか女であつた……」

近藤勇が不思議がる通り、突然飛び出した絃四郎への助太刀、それは加壽美であつた。

(六) 昭和六年一月三十一日 滿洲日報 (土曜日) 第八千八百九十號
世界獨歩の强力消化素
タカヂアスターゼ
三共株式會社
鎭咳袪痰劑
ブロチン
三共株式會社
一路邁進
大量生産の結果 品質の優秀と廉價に徹底し 更に其品質は不斷の科學的研究により日進月歩 向上の一路を進んで居ります 次第 一層の御愛顧を希上げます
半途で溶崩がせず三倍も保つ
ミツワ石鹸
何故良いでせうか？
本舖 東京 丸見屋商店
ぢ如件
肛門藥商會
白鶴壜詰
扶桑仙館
相原醫院
度量衡
水上洋行
おいしいお米の御用命は 志摩洋行
適好ニ代時化理合
實質的御贈答品
日清さらだ油
ノモイル
新進
鐵谷商店
ナンヨテルバー
緊縮節約の折柄
富士屋旅館
金華號本店
斯界に定評ある
ツアイスイコンフヰルム
コール天服
元氣洋行
伊勢町藥局
眞鍮看板 ネームプレート 調製
沖本ブリキ店
熊岳城 溫泉
溫泉ホテル
外海洋行
サポールド
産婦人科
永井婦人醫院

虹と兜虫 (28)

龍膽寺雄 作
一木弴 畫

玖須子爵 (三)

「お父さま!」

木蓮閣の左の翼のはしに、常緑樹に圍まれて高く空へ聳えた古風な三重塔の、雨に朽ちた三階の勾欄のさころから身をのり出して、白いハンケチを振つて居た珊瑚は、やがて兩手で口を圍つて、――下の谷の密林の間に見え隱れするウネウネ徑の白鳥伯爵やお客さまの玖須子爵の一行に、高い徹る聲を投げるんでした。

「早くいらッしやい!お母さま。……」

「ついでに子爵さまもお呼びになつては?」

香の匂の沁みこんだ觀音扉のさころから、さう言つて聲をかけるのは――珊瑚の家庭教師の香川女史です。

「厭よ」

珊瑚はそッけなく

「あなたが呼ぶさいゝわ」

「あら。こちらを見ていらッしやるわ」

「あたくし、お母さまさお父さまさに御用があるのよ」

「子爵さまには?」

さう言つて、何かしら冷たくかゝかふ香川女史には答へもせず、もう一度兩手で口を圍つて、珊瑚は叫ぶんです。

「お母さま!」

その聲が森から反響して來るさ一緒に、谷のウネ〳〵徑のさころでみんなは足をさめて――やがて一番先頭に立つた玖須子爵が、これも白くハンケチを振つて見せるんでした。塔の三階の高い勾欄のさころに珊瑚を見つけたんです。

「はい」

さう言つて香川女史は珊瑚にも合圖をさせようさ、床へ落ちたハンカチを拾つて珊瑚の前に差出すさ、彼女は反感的な瞳でこの老令孃の家庭教師を瞻めて

「意地わる!」

「まア……」

香川女史は神經質に

「なぜわたし意地わるでございましてゝ?」

「意地わるよ!」

「だから、なぜつてお訊きして居ますの」

「だつて、さツきから……」

さ、珊瑚は皮肉に冷たく落ちついたオルド・ミスの家庭教師さ鼻つき合はせて向き合つて、

「子爵々々ッて何遍子爵をおッしやるの?あたくし玖須さんなんて何でもないわよ。あんなアメリカのモダン・ボオイあたくし大嫌ひ……そんなに子爵々々つて、それならあなたがお接待なしたらいゝわ。多分玖須さん大變よろこぶでせうよ!」

「お孃さま」

香川女史は鋭く

「わたし、あなたがお浮氣をなさいますのには、別段干渉をしませんわ。子爵でも男爵でもどうぞ御遠慮なく。……でも玖須子爵の引合ひにわたしを出して下さるのだけは、お願ひ下げにして下さいませ。わたし……失禮でございますけれど、世界中のどんな人種よりも、今のフランス讀本にあつたニグロやホッテントットの土人よりもああした玖須さんのやうなタイプの男のかたが嫌ひでございますから」

「あなたが玖須さんがお嫌ひなのは御勝手だわ」

珊瑚は幾らか感情的に

「でも、子爵々々つてあたくしを冷かす理由はなくつてよ」

「何もわたし冷かしたりは致しませんわ」

オールド・ミスは依然さして皮肉に

「たゞ、自分の氣持を率直に申上げただけでございますの。わたし心でこッそり考へて居るこさをうわべで隱したりして居るのは大嫌ひなたちでございますから。お氣に觸りましたら御免遊ばせ。……それより子爵があそこに立止まつてまだ合圖をお待ちになつてゐらつしやるわ。早く答へをして差上げ遊ばせ!」